

# 日本風景街道 ベストプラクティス集 (案)

Ver. 2

～ ご使用にあたって ～

●目的

本事例集は、風景街道パートナーシップの方々が、活動を行う際の参考にして頂くことを目的として作成。

●連絡先

・各活動事例に関する質問については、活動事例の中に記載されている連絡先へ問い合わせ可。

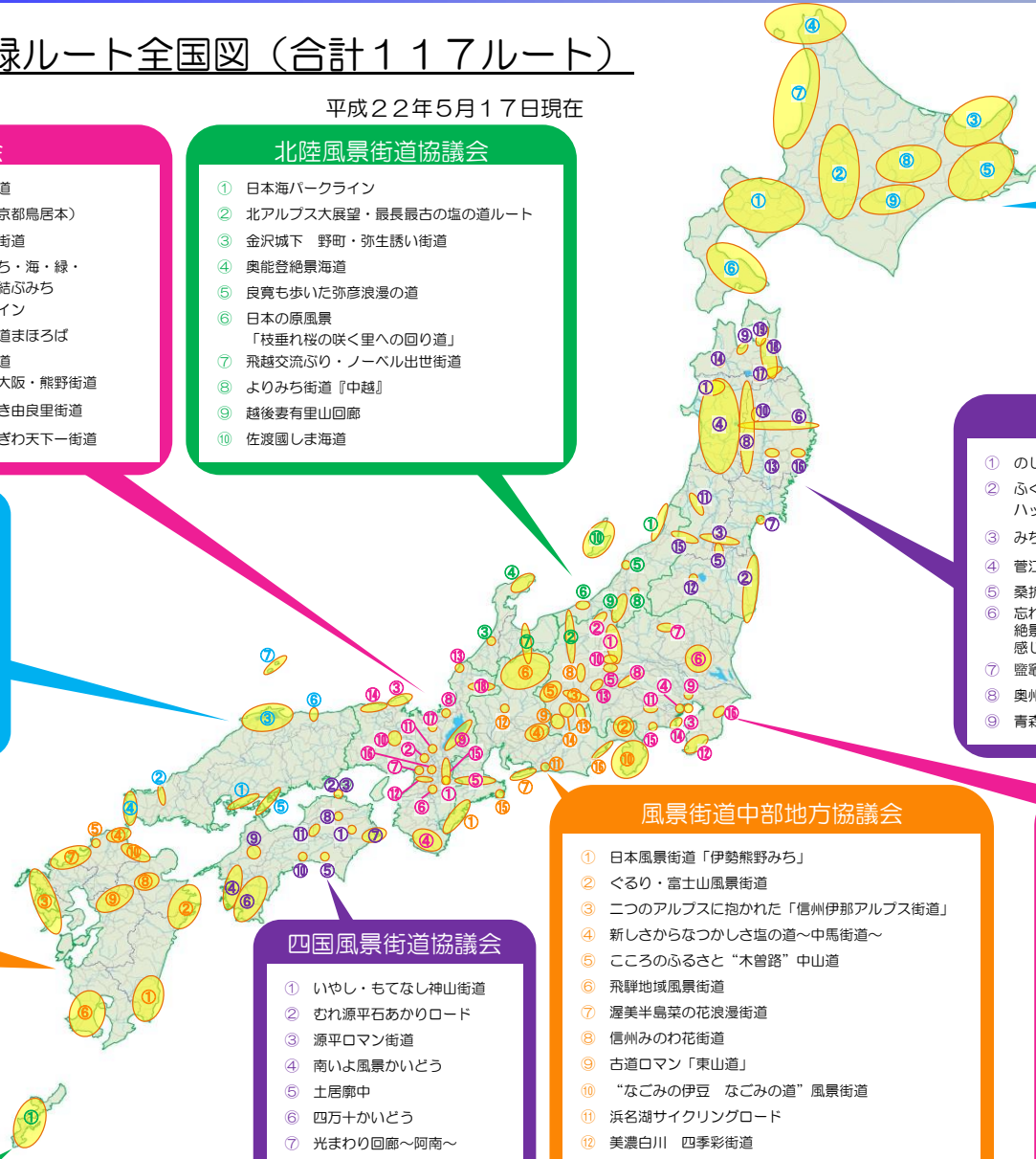
・その他活動等に関する質問につきましては、管轄する各地方協議会へお問い合わせ下さい(巻末をご参照ください)。

# 風景街道の登録状況

～平成22年5月現在 全国で117ルートが登録～

## 日本風景街道 登録ルート全国図 (合計117ルート)

平成22年5月17日現在



### 近畿風景街道協議会

- ① 日本文化のクロスロード (横大路・下ツ道)
- ② 新世紀くらわんかストリート
- ③ 丹後半島「古代ロマン街道」
- ④ 日本風景街道 熊野
- ⑤ 日本風景街道伊勢街道
- ⑥ 御所まち近世景観街道 ～近世物流の要所～
- ⑦ 中之島・大川・御堂筋回廊
- ⑧ 若狭熊川・鯖街道
- ⑨ 琵琶湖さざなみ街道・中山道
- ⑩ たんば三街道
- ⑪ 愛宕街道 (京都烏居本)
- ⑫ 悠久の竹内街道
- ⑬ 三国湊のまち・海・緑・そして人を結ぶみち
- ⑭ 但馬漁火ライン
- ⑮ 日本風景街道まほろば
- ⑯ 日本風景街道 ～難波宮と大阪・熊野街道
- ⑰ 美山かやぶき由良里街道
- ⑱ ふくいやまざわ天下一街道

### 北陸風景街道協議会

- ① 日本海パークライン
- ② 北アルプス大展望・最長最古の塩の道ルート
- ③ 金沢城下 野町・弥生誘い街道
- ④ 奥能登絶景海道
- ⑤ 良寛も歩いた弥彦浪漫の道
- ⑥ 日本の原風景 「枝垂れ桜の咲く里への回り道」
- ⑦ 飛越交流ふり・ノーベル出世街道
- ⑧ よりみち街道『中越』
- ⑨ 越後妻有里山回廊
- ⑩ 佐渡国しま海道

### シーニックバイウェイ 北海道推進協議会

- ① 支笏洞爺ニセコルート
- ② 大雪・富良野ルート
- ③ 東オホーツクシーニックバイウェイ
- ④ 宗谷シーニックバイウェイ
- ⑤ 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- ⑥ 函館・大沼・噴火湾ルート
- ⑦ 萌える天北オロロンルート
- ⑧ 十勝平野・山麓ルート
- ⑨ トカプチ雄大空間

### 中国地方風景街道協議会

- ① R185さざなみ海道
- ② 歴史街道「萩往還」
- ③ 人間文化の原風景 ～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～
- ④ 本州最西端の道「風波のクロスロード」
- ⑤ しまなみ風景街道
- ⑥ 大山遠望歴史の道
- ⑦ 風待ち海道 ～隠岐まるごとミュージアム～

### 東北風景街道協議会

- ① のしろ白神の道
- ② ふくしま浜街道
- ③ みちのくおとぎ街道
- ④ 菅江真澄と巡るあきたの道
- ⑤ 桑折宿まちなか街道
- ⑥ 忘れられた道造りの歴史と絶景を「江戸の旅日記から感じる道」
- ⑦ 鹽竈街道
- ⑧ 奥州街道 温故知新の道
- ⑨ 青森エントランスロード
- ⑩ 菓子の松街道
- ⑪ 出羽の古道 六十里越街道
- ⑫ 城下町あいづ道草街道
- ⑬ 広瀬川せせらぎ街道
- ⑭ 弘前まちなか散策街道
- ⑮ 越後米沢街道・十三峠
- ⑯ 釜石「鉄のみち」
- ⑰ 十和田奥入瀬浪漫街道
- ⑱ 奥州街道と縄文のみち
- ⑳ 黄花紅の東むつ湾ルート

### 九州風景街推進会議

- ① 日南海岸きらめきライン
- ② 日豊海岸シーニック・バイウェイ (蒲江・北浦大漁海道)
- ③ ながさきサンセット・オーシャンロード
- ④ 北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”
- ⑤ ちょっとよりみち 唐津街道むなかた
- ⑥ かごしま風景街道
- ⑦ 玄界灘風景街道
- ⑧ 九州横断の道 やまなみハイウェイ
- ⑨ 九州横断の道 阿蘇くまもと路
- ⑩ 「豊の国歴史ロマン街道」 一小倉・足立山から宇佐の森へ

### 風景街道中部地方協議会

- ① 日本風景街道「伊勢熊野みち」
- ② ぐるり・富士山風景街道
- ③ 二つのアルプスに抱かれた「信州伊那アルプス街道」
- ④ 新しさからなつかしき塩の道～中山道～
- ⑤ こころのふるさと“木曾路”中山道
- ⑥ 飛騨地域風景街道
- ⑦ 瀬美半島菜の花浪漫街道
- ⑧ 信州みのわ花街道
- ⑨ 古道ロマン「東山道」
- ⑩ “なごみの伊豆 なごみの道”風景街道
- ⑪ 浜名湖サイクリングロード
- ⑫ 美濃白川 四季彩街道
- ⑬ 民俗芸能と南北朝歴史浪漫のみち「秋葉街道」
- ⑭ 南信州パノラマ街道
- ⑮ きらり三橋志摩ゆうやけパール街道
- ⑯ 東海道「駿河2峠6宿風景街道」

### 四国風景街道協議会

- ① いやし・もてなし神山街道
- ② むれ源平石あかりロード
- ③ 源平ロマン街道
- ④ 南いよ風景かいどう
- ⑤ 土居廊中
- ⑥ 四万十かいどう
- ⑦ 光まわり回廊～阿南～
- ⑧ 美馬市まほろば夢街道
- ⑨ 砥部陶街道
- ⑩ 土佐のまほろば風景街道
- ⑪ 三好市秘境ロマン街道

### 風景街道関東地方協議会

- ① 浅間・白根・志賀さわやか街道
- ② 千曲川・花の里山風景街道
- ③ 江戸・東京・みらい街道
- ④ 『東京・迎賓地区』
- ⑤ ルート299北ハケ岳しらかば街道
- ⑥ 千変万化の筑波山「まち」「さと」周遊ルート
- ⑦ 晴空から天空への道 日光街道
- ⑧ 秩父路ルネッサンス
- ⑨ 日本風景街道298三郷
- ⑩ 浅間ロングトレイル
- ⑪ 甲州夢街道 (八王子・相模湖・藤野エリア)
- ⑫ 南房総・花海街道
- ⑬ ハケ岳南麓風景街道
- ⑭ 東海道 風景街道
- ⑮ 歴史街道「ぶらり大磯」(Slow Life in OISO)
- ⑯ ロングビーチ 癒しの九十九里街道

### 沖縄地方風景街道協議会

- ① 琉球歴史ロマン街道「啓道」

《 目 次 》

活動の効果	活動ジャンル	活動内容 (カテゴリ)	活動内容 (具体例)	活動の参考事例（ベストプラクティス）			ページ 番号	
				【地域】ルート名	活動内容	工夫した点		
A. 多様な主体 による協働	①調査、計画	調査研究、 計画策定	・現地調査の実施	【沖縄】 琉球歴史ロマン街道「宿道」	景観点検ツアーの実施	参加者の議論しやすさを考慮し、乗用車に分乗せず観光バスにより実施	1	
			・ワークショップ、勉強会 の開催	【中部】 日本風景街道「伊勢熊野みち」	構成団体同士の交流・連携を深めることを目的とした勉強会の開催	机上の勉強会にせず、体験・実演メニューを採り入れた	2	
				【中国】 R185さざなみ海道	道標（案内看板）設置検討ワークショップの開催	より多くの団体に参加してもらうために、案内状の送付だけでなく事務局やキーパーソンが参加者を募集	3	
				【中国】 しまなみ風景街道	各地域を大学のキャンパスに見立て、各地域ならではの歴史・文化・伝統工芸等を題材とした講座の開催	全ての講座に体験学習を取り入れ、講座の魅力付けを行った	4	
				【四国】 土居廊中	小学生を対象としたフィールドワークの実施	小学生が時間内にプログラム終了できるように時間を配分	5	
			・検討における学識経験者 や専門家との連携	【東北】 巢子の松街道	松並木の保全を目的とした危険木の状況の定期的な点検	危険木の判定法等について樹木医を講師にした勉強会を実施し、「点検シート」を作成	6	
			・モニターツアーの実施	【東北】 菅江真澄と巡るあきたの道	観光ルートの商品化に向けたモニターツアーや参加者へのアンケートの実施	パートナーシップ団体の自助努力によるガイドの実施や、真澄の図絵と現在の風景比較などを実施	7	
				【関東】 秩父路ルネッサンス	秩父地域の魅力ある散策コースを発見するためのエコハイクツアー調査の実施	ボランティアとガイド役の語り部が調査し、調査後に体験レポートを提出	8	
			・活動テーマの設定	【中部】 “なごみの伊豆 なごみの道” 風景街道	開国の歴史や文学の舞台である「下田街道」、熱海や伊東等の温泉地が連なる「東海岸」、夕日の美しい「西海岸」の3つの通りごとの特徴を活かしたテーマの設定	歴史、文化、景観など3つの通りごとの特徴を活かし、継続的に取り組めるテーマ設定に心掛けた	9	
	②活動の維持、 継続	人材育成	・ガイド育成	【東北】 みちのくおとぎ街道	語り部の育成	「みちのくおとぎ民話フェスタ」という活動の場を作ることで、語り部のモチベーションを向上	10	
			調査研究、 計画策定	・活動団体(人)が共通した 認識の下で活動できる 素地の構築	【関東】 秩父路ルネッサンス	各種活動に参加するボランティアに対する地域通貨「ちちぶ魅力アップ券」の提供	地域に定着しているコイン型商品券と連携	11
		連携促進、 交流促進			【北陸】 良寛も歩いた弥彦浪漫の道、 佐渡國しま街道	「良寛も歩いた弥彦浪漫の道」と「佐渡國しま街道」の合同の勉強会、意見交換会、現地見学会の開催	海を挟んで双方の地域が見渡せる双方のビューポイントにおいて開催	12
					B. 美しい国土 景観の形成	③良好な景観 の形成	景観形成	・景観上好ましくない施設 の撤去、改修
【北海道】 支笏洞爺ニセコルート	・看板のデザイン統一 ・景観阻害看板調査 ・民間看板等の集約化	・新聞折り込みチラシにより撤去希望看板を公募 ・集約看板について民間企業等から維持管理経費を徴収する仕組みとした	14					
【北陸】 良寛も歩いた弥彦浪漫の道	自動販売機に木材を被せ修景	「弥彦浪漫の道」ロゴを焼き付けた活動紹介のプレートと一緒に設置し、認知度向上に工夫を凝らした	15					
【近畿】 日本風景街道 熊野	ガードレールの景観に配慮した色彩への塗り替え	ガードレールを付け替えるのではなく、塗装で対応することで経費を1/6に抑えた	16					
・植栽	【四国】 いやし・もてなし神山街道	「神山枝垂れさくら」の植栽	活動に要した資金は活動主体の会費、寄付金、団体助成を活用	17				
・沿道樹木伐採	【関東】 秩父路ルネッサンス	景観間伐の実施	・パートナーシップのメンバーでもある大学の研究室と連携 ・ボランティアによる枝打ち体験を実施	18				
④地域資源の 再生、活用	施設整備	・ビューポイントの整備、 保全	【九州】 ながさきササヅキ・オシャンロード	ビュースポットにおける簡易パーキングの整備	地域住民などから夕日の絶景スポットを情報提供してもらった	19		
			【九州】 日豊海岸シーニック・バイウェイ	既存展望台の清掃、除草及び雑木伐採	ゴミ投棄に関する注意看板を設置	20		



活動の効果	活動ジャンル	活動内容 (カテゴリ)	活動内容 (具体例)	活動の参考事例 (ベストプラクティス)			ページ 番号
				【地域】ルート名	活動内容	工夫した点	
C. 地域活性化 への寄与	④地域資源の 再生、活用	収益事業、 イベント 企画・実施	・地域資源を活用した イベント等の開催	【北海道】 支笏洞爺ニセコルート	キャンドルナイトの実施	企業協賛やシーニックサポーターを募集することで協賛金を獲得	21
				【東北】 みちのくおとぎ街道	「みちのくおとぎ民話フェスタ」の開催	「みちのくおとぎ民話フェスタ」という活動の場を作ることで、語り部のモチベーションを向上	10
				【近畿】 若狭熊川・鯖街道	子ども語り部の実施	熊川宿に詳しい学識経験者の指導と「語る会」を開催し、子供語り部の実施に繋げた	22
				【中国】人間文化の原風景 ～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～	オープンカフェの実施	島根県補助事業、松江商議所支援を活用し原資を確保	23
				【四国】 むれ源平石あかりロード	源平史跡を繋ぐ道の庵治石等で作られた「石あかり」によるライトアップ	・電源は各沿道住民が負担 ・ガイドに石材関係者を活用	24
				【四国】 南いよ風景かいどう	地域資源の手作りの灯籠によるライトアップ	学生や住民の手作り灯籠を使用したほか、公益事業費や自治体補助、屋台での物産販売の収入を活動費用として活用	25
				【四国】 四万十かいどう	「大月コスモスまつり」の開催	町内婦人部に呼びかけして協力を得た	26
	施設整備	・古道の復元	【近畿】 日本風景街道伊勢街道	古道の復旧	・新聞やケーブルテレビを通じて他地域からもボランティアを募集 ・地域団体の活動を支援することで、風景街道「伊勢街道」連絡協議会の活動目的や事業内容を具体的にPR	27	
			【東北】 越後米沢街道・十三峠	未開発峠の調査及び復元	地元の小学生、ボランティアに協力して頂いた	28	
	⑤基盤整備	情報発信、 PR	・自転車走行環境の周知	【沖縄】 琉球歴史ロマン街道「宿道」	「自転車版快適さマップ」の作成	県道以上の道路を「安全性」と「快適性」から評価	30
		施設整備	・自転車走行環境の改善	【沖縄】 琉球歴史ロマン街道「宿道」	・ツール・ド・おきなわとの連携による自転車走行環境上支障のある箇所の道路管理者への指摘 ・「走行改善カルテ」を用いたフォローアップの実施	「走行改善カルテ」により指摘箇所の情報共有化が可能となり、早期対応が可能となった	31
	D. 観光振興への寄与	④地域資源の 再生、活用	収益事業、 イベント 企画・実施	・地域資源を活用した イベント等の開催	【四国】 砥部陶街道	スタンプラリーの実施	・完巡メダルを干支の図柄とし、毎年図柄を変えることで収集する楽しみを加えた ・ポイントにまつわる問題を設定し、高得点者に認定証を発行 ・携帯メール会員となると、砥部焼伝統産業会館への入館が毎回無料となる得点を付加
⑤基盤整備					施設整備	・休憩施設の整備	【北陸】 佐渡国しま海道
		・通り名による道案内	【九州】 ながさきサンセット・オーシャンロード	通り名による道案内の実施		地域住民の合意形成を図るため、地域住民の誰もが参加できるワークショップを開催	34
			【九州】 日南海岸きらめきライン	通り名による道案内の実施		標示板にQRコードや昔の写真を貼付け、付加情報を提供	35
⑥来訪者の 呼び込み		情報発信、 PR	・地図、パンフレットの作成 ・HPの作成 ・ブログの活用 ・活動の表彰への応募	【中国】 しまなみ風景海道	地域資源パンフレットの作成	イベント、観光名所、宿泊施設、公共機関・施設の案内、料金表等を掲載	4
				【中国】 大山遠望歴史の道	ビューポイントマップの作成	倉吉市内において大山が眺望できるポイントを中心に作成	36
				【北海道】 宗谷シーニックバイウェイ	観光情報の一斉配信	各観光協会が連携して情報交換・集約し、その時々地域の動きがわかるように情報を提供	37
				【北海道】 釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ	ホームページライターとなった住民による「旬な地域情報」の発信	・様々な旬の地域情報を発信できるようにブログ形式のホームページを採用 ・定期的に「ライターズミーティング」を開催	38
				【沖縄】 琉球歴史ロマン街道「宿道」	伝統行事「首里城お水取り」のPR	当該行事を日本水大賞(水環境に貢献した団体等を表彰するもの)へ応募し、活動のPRを図った	39

## ①活動概要

パートナーシップのメンバーが、問題意識を共有できるよう、国道331号を中心としたメインルートの景観点検を実施した。（平成19年度）

## ②活動の体制

事務局を南部国道事務所が担当し、  
パートナーシップの構成員  
（NPOなどの住民団体、市町村など）で実施



点検ルートの検討状況



点検ルートの実施状況

## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】・点検する区間が長いため、点検結果を把握する調査シートを、わかりやすく、使いやすいように作成するのに苦労した

【工夫した点】・パートナーシップによるワークショップ形式で、立ち寄りポイントを議論し、埋もれた資源を準備段階で浮き彫りにした

・参加者が、その場で議論できるように、乗用車に分乗するのではなく、観光バスを借り上げて実施した

## ④活動の効果

- ・地元では、あたりまえの風景として認識されていた地点が、景観資源であることを認識
- ・植栽やサイン整備での課題を発掘して、今後の取り組みの方向が明確になった

## ⑤今後の活動

- ・本ツアーで確認した資源以外にも、まだまだ資源があるため、これらについても継続して発掘していく必要がある
- ・また、埋もれていた資源を磨くためには、安全で快適に利用できるように、アクセス道路の整備、サインの整備、休憩施設の整備を行い、情報発信をしていく必要があり、行政を交えた計画を立案していく

問合せ先 担当:沖縄総合事務局 南部国道事務所 渡久山  
電話:098-862-5325

## ①活動概要

日本風景街道「伊勢熊野みち」の活動エリアは、南北に長く6市町にわたり、普段は個々に活動をしている。他の活動団体の現状を学習することにより、今後の活動の発展につなげていくとともに、構成団体同士の交流・連携を深めることを目的に勉強会を開催した。（平成20年度より実施）

## ②活動の体制

主体

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会  
 【構成】三重県・尾鷲市・熊野市・大紀町・紀北町  
 御浜町・紀宝町・熊野川体感塾などの関係団体

※活動費用：『日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会』等で負担

## ③苦勞した点や工夫した点

「みんなで取り組む活動」として議論し、机上の勉強会にせず、体験・実演メニューを取り入れた。

## ④活動の効果

一日かけての勉強会となったが、体験や意見交換を通じて団体同士の交流が深まった。参加者からも非常に好評で、今後も、みんなで取組を継続していく必要性を認識し、一体感が生まれた。

## ⑤今後の活動

別の地区でも勉強会を開催していく予定。



三反帆による川舟下り



竹細工の実演



アドバイザーによる  
講義の後意見交換  
を行った

問合せ先 担当：三重県県土整備部景観まちづくり室  
 電話：059-224-2747



### ①活動概要

R185さざなみ海道は、自然・歴史・文化に恵まれた国道185号沿線を舞台に地域をつなぎ、より魅力ある地域の形成していく事、沿線4市（呉市・東広島市・竹原市・三原市）の広域連携の中で地域住民が主体となった街づくりを通して、自分たちの街の美しさなどの再認識・再発見をすること、また、内外に地域の情報発信を行うことを目的として活動を行っている。

平成20年度は、日本風景街道に登録されていることの周知や、地域の美しさを再認識してもらうための道標(案内看板)設置検討ワークショップを開催、今ある周辺の観光・地域資源を今後の活動に反映させるための現地調査及び町内外の方にR185の愛称、沿線の好きな場所等のアンケート調査を実施、H21年度の活動につなげていくこととしている。

### ②活動の状況

道標設置検討のための現地調査(フィールドワーク)風景



### 道標の提案

A案 街道標識活用案	B案 オリジナルデザイン案	C案 フォトフレーム案
<p>一般的な仕様の街道標識に対して、ポール部分にイメージカラーを配色し設置。標識下部を活用してR185みちばた会議の各種地域情報や会議参加者が自由に掲載できる仕様にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□設置コストを抑えることができる。</li> <li>□情報を取り替えることができる。</li> <li>□自動車・徒歩等それぞれに対応した情報掲載。</li> </ul>	<p>主に交通結節点や既存の駐車エリアを設置場所として、オリジナルデザインのサインを設置する。ベンチ・休憩・展示棚なども配置するなど、住民が憩いがけつパーク風の空間とすることで、情報の受取値の効果を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□集う場所をつくる。</li> <li>□歩行者へ(降車して)の情報発信が中心。</li> <li>□清掃など継続的な管理が必要。</li> </ul>	<p>清流海浜公園内に設置されていた「OMOIDE」がコニクで芸術性もあり高評価であった。海濱公園を舞台とし、沿線の主要スポットにストーリーにそったオブジェの設置を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□オブジェ設置で沿線のイメージアップ。</li> <li>□カメラやケータイで撮影する楽しみ。</li> <li>□設置コストが高い。</li> </ul>



ワークショップ風景



アンケート実施状況



### ③苦勞した点や工夫した点

#### R185号の愛称、沿線の好きな場所について

【苦勞した点】より多くの団体に出席いただくため、会の案内を送付するだけでなく、事務局やキーパーソンが説明しながら、人と人との繋がりを大切に考えて参加者を募った事。

【工夫した点】ワークショップの中で自由に意見を述べてもらうようにしているため、不満等に偏らないよう、時間を有意義に使えるように、ファシリテータと事務局で事前打合せを念入りに行った。



### ④活動の効果

沿線4市や住民連携を図る取組の中で地域資源の再確認を行う作業の第一歩となった。観光スポットなどを紹介する道標(案内看板)の設置候補地の選定や街道(海道)の愛称募集・検討など、地元住民を中心に活発な議論ができる場となった。

### ⑤今後の活動

来年度も引き続き道標検討を行い、瀬戸内の豊かな自然風景や地元の人ぞ知る観光スポットなどの情報について詳細に検討し、道標(案内看板)を設置する。ワークショップなどの意見交換をさらに深め沿線地域活性化策を模索する。

#### 「街道名」変更の検討

##### A案 さざなみ海道

野呂山には「さざなみスカイライン」などの愛称を持つ路線があり、かつ赤良線は「瀬戸内さざなみ線」との愛称をもちいて観光キャンペーンをおこなっている。地域に根付いた「さざなみ」という愛称に注目する意見が多かった。

R185さざなみ海道  
芸南路さざなみ海道  
などの、バリエーションも検討対象。

問合せ先 竹原市 建設産業部 建設課  
電話 0846-22-7746

### ①活動概要

しまなみの各地域を大学のキャンパスに見立て、その地域ならではの歴史・文化・伝統工芸等を題材とした講座を開催し、地域資源の活用並びに人材育成を推進するとともに、地域間の交流を促進する。

また、地域資源パンフレット「SHIMAP」を作成した。

### ②活動の体制

主体	瀬戸内しまなみ海道振興協議会 (尾道市、今治市、上島町の官民団体)
協力	地元住民・団体、行政等 (講師等として協力)

### ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞点】魅力ある講座内容の企画化

【工夫点】しまなみの魅力を体感しながら人材育成を図るため、聴くだけではなく興味を持って貰うように、全ての講座に体験学習を取り入れ、講座の魅力付けを行った。

### ④活動の効果

- ・魅力の再認識による地元への自信・愛着の向上
- ・しまなみ情報の継続的発信による認知度の向上
- ・地域間の交流の拡大

### ⑤今後の活動

民間主導による講座導入の検討。

「SHIMAP」



#### <実施講座例>

- ・水軍講座 : 村上水軍の歴史を学ぶ講座
- ・しまなみ人養成講座 : 日本唯一の国産ライムを体感する講座
- ・環境学習講座 : しまなみ地域の環境を学ぶ講座 (しまなみの森を守る)
- ・しまなみ体験講座 : おのみち帆布クラフト作成、にぎり仏づくり等の体験講座

#### ●しまなみ人養成講座



#### ●水軍講座



#### ●おのみち帆布クラフトとにぎり仏づくり講座



#### ●環境学習講座



MAP、イベントの紹介、観光名所、旧跡等の紹介、宿泊施設の案内、公共機関・施設の案内、料金表等を掲載。

問合せ先 尾道市 観光課  
電話 0848-25-7184



### ①活動概要

地域の小学生を対象に“昔の風景・地図”からその場所を探し、今の様子を写真で撮影するというもので、そのことを通じて、「昔から残っているもの」「変わったもの」を探し、「残していきたいもの」「なぜ変わったのか」などを考え、風景・景観や地域に対する意識を高めてもらう。(H19,20)

### ②活動体制

主 体 歴史と文化にふれる  
歩く道づくり懇話会 + 協 力 土居小学校

活動に要した費用の調達方法

- ・ H18～H19年度に調査委託費で作成した資料で対応。
- ・ 機材等は、懇話会メンバーで調達。

### ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】●限られた時間内でのフィールドワーク設定。

【工夫した点】●小学生が時間内にプログラムを終了できるような時間配分

- 開催状況を市役所HPで報告

### ④活動の効果

- 大人では気づかなかったことを指摘したり、他の班に負けまいように積極的に探したりする場面が見られた。
- 大きな変化があった場所に驚く声や、昔の建物がそのまま残っていることに気づいたという声が聞かれるなど、風景への関心が高まったことを感じたフィールドワークとなった。

### ⑤今後の活動

- 今後も、土居廓中をコアエリアとし「歩いて地域の良さを見つけよう」をキーワードとして、ウォーキングイベントや風景学習、道路清掃などを継続的に実施する
- 歩くことを主体とした“みちづくり”、“地域づくり”に関する取り組みを行っていく。

### ■開催状況



問合せ先 担当:土佐国道事務所 調査課  
電話:088-884-0359

## ①活動概要

松並木の美しい風景を保全するため、倒木発生の予防や立ち枯れなど危険木の状況を定期的に点検。危険と判断された危険木は道路管理者に報告し、道路管理者が危険木の伐採を実施。

(平成18年度より実施)

- ・危険木の点検
- ・点検活動を円滑に進めるための点検路の手入れ

## ②活動の体制

主体

巢子の松街道（PS）

## ③苦勞した点や工夫した点

## 【苦勞した点】

- ・松並木を構成している多様な草木には、周囲の開発で消えていった原野生の植物が残されており、見かけを良くするだけの単純な刈払い作業は不適切であり、並木の手入れ作業の際は十分な配慮が必要。

## 【工夫した点】

- ・危険木の判定法などの専門的知識の習得が難しいため、樹木医を講師にした勉強会を行い、危険判定を簡易な測定と略図で記録する「点検シート」を作成して対応。
- ・点検シートは、会員の普及・啓発のための材料として活用。

## ④活動の効果

- ・並木の点検や観察会などの活動を行うことにより、ゴミなどの不法投棄が減少
- ・危険木除去の早期対応
- ・保全された環境緑地と松並木が調和した空間の創出

## ⑤今後の活動

- ・冬季に危険木の点検、春～秋に手入れや観察会などを継続的に実施
- ・また、点検路の拡大等にも取り組む予定
- ・広く一般の方々にも巢子の松街道の価値を知っていただくため、歴史資源としての松街道の解説ボードやビューポイント標識の設置などを進めることとしている



▲国道への倒木



▲手入れされていない並木



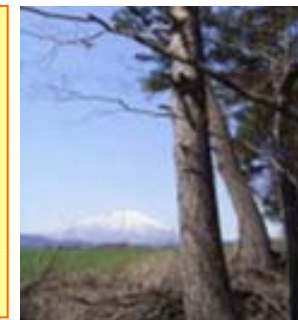
▲並木危険木点検を、パートナーシップで実施することにより、伐採作業の早期対応が可能。



▲伐採木はチップ化し点検路に敷設、フットパスとしての利用も可能となり、また、ゴミの散乱もなくなった。

『巢子の松街道』は、「鹿角街道(盛岡～鹿角)」の並木として作られ、約400年の歴史をもつ。

岩手県の環境緑地保全地域、盛岡市の盛岡百景に指定されており、国内第一級の規模の松並木と岩手山が調和して、雄大な景観を形成している。



問合せ先 巢子の松街道パートナーシップ事務局 担当 浅沼  
電話：019-688-5271(浅沼セイゴ 方)



### ①活動概要

秋田県内外に多数存在する「菅江真澄」の足跡を巡る新たな観光ルートの商品化に向けたモニターツアーと参加者からのアンケート調査の実施。

(平成18年度より実施)

- ・H18：横手市美郷町方面（40名）
- ・H19：男鹿市（40名）
- ・H20：青森県下北方面（12名）、男鹿市（14名）

### ②活動の体制

主体

秋田のみち・文化再発見の会(PS)

### ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】・地元ガイドの確保

- 【工夫した点】・PS団体の自助努力によるガイドを実施
- ・随所で菅江真澄の図絵と現在の風景を比較
  - ・昼食も真澄が記載したメニューを再現

### ④活動の効果

- ・参加者のアンケート結果は概ね好評。
- ・商品化に向け、手応えを感じている。

### ⑤今後の活動

- ・商品として“何が不足”して“何が支障”となっているのか等、アンケート結果を取りまとめ関係機関へ提起する。
- ・地元ガイドの育成、地域の受入体制の構築を図る。
- ・広域観光ルートの商品化へ向け、観光会社との連携を図る取り組みを展開していく予定。

### 菅江真澄とは

菅江真澄（1754～1829）は、江戸時代後期の紀行家で、現在の愛知県の生まれです。北陸・東北・北海道を巡り歩き、中でも秋田には29年間も滞在していました。残された図絵は3,000枚にもなり、その足跡は秋田県内各地にのこされています。男鹿の「なまはげ」を最初に記した人でもあります。



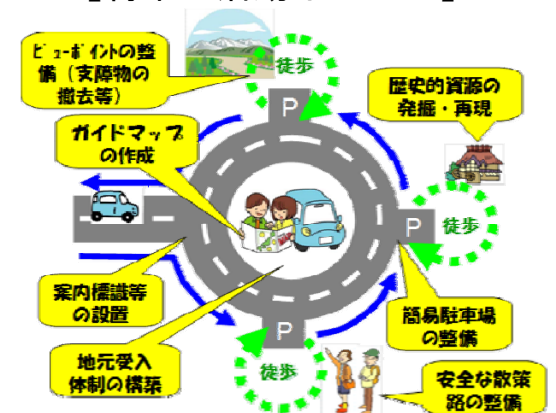
菅江真澄の図絵  
※秋田県立博物館蔵の写本

菅江真澄の図絵（約200年前）とほぼ変わらない景色の中での昼食（H19）



菅江真澄も描いた真山神社のカヤの木（男鹿市）  
について地元ガイドの説明を聞く参加者（H20）

### 【将来の活動イメージ】



問合せ先 担当：秋田のみち・文化再発見の会 鏡 啓記  
あぶみ けいき  
電話：018-832-5680

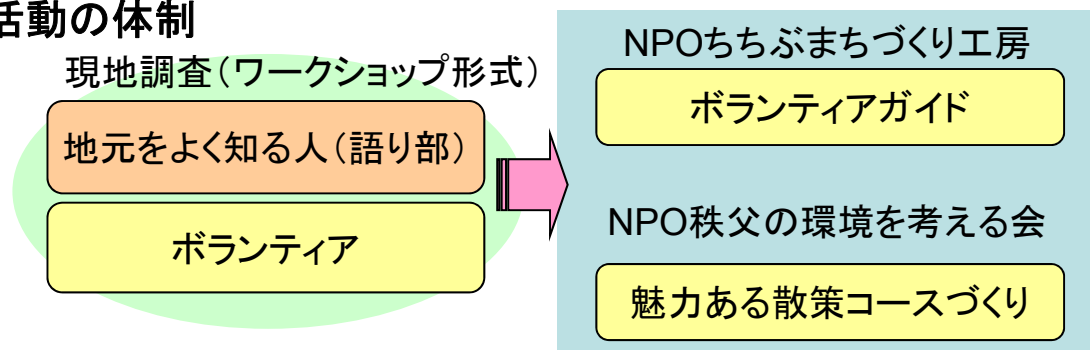


## ①活動概要

ハイキングコースや散策コースなど地図やガイドブックなどには載っていない、隠れた秩父地域の魅力ある散策コースを発見するため、ボランティアとガイド役の地元の人（語り部）が二人三脚で現地を調査し、コースの改善作やPRのアイデアなどをワークショップ形式で探っていくもの。

この活動は、平成18年度から毎年取り組んでいるものです。

## ②活動の体制



## ③苦勞した点や工夫した点

- ・ 地図やガイドブックではなく、語り部とのふれあいから楽しさや感動を伝え、「ボランティアガイド」を養成。
- ・ 現地調査後、エコハイクツアーに参加したボランティアの方に体験レポートを提出してもらい、隠れた魅力やPR方策を検討しコースづくりに役立てた。

## ④活動の効果

- ・ 地域外の人とのふれあいから、地元の人におもてなしの心が育まれた。
- ・ 知られざる地域の魅力を知ること、地元へ自信と愛着が深まった。
- ・ 地元の人とボランティアガイドの養成により、訪れる観光客へのサービスが向上した。

## ⑤今後の活動

- ・ 秩父地域の魅力ある散策コースマップを作成し、各方面に情報を発信する。
- ・ ボランティアガイドによる出前講座を開催し、より多くの人へ魅力を知ってもらう。



まちあるき調査

語り部



ボランティアガイド



問合せ先 担当:NPOちちぶまちづくり工房 市川 均  
 電話:049-237-7670(アーキネットデザイン)  
 担当:NPO秩父の環境を考える会 萩原 良朗  
 電話:0494-24-4116(萩原印刷)  
 担当:埼玉県県土整備政策課 政策形成担当  
 電話:048-830-5365

## ①活動概要

活動エリアの伊豆半島は広いことから、開国の歴史や文学の舞台である「下田街道」、熱海や伊東等の温泉地が連なる「東海岸」、夕日の美しい「西海岸」の3つの通りに大きく分けて、それぞれの通りごとの特徴を活かしたテーマ設定をして活動を進めることとし、平成20年度に個別テーマが決定した。

## ②活動の体制

## “なごみの伊豆 なごみの道”推進会議

## &lt;市民・住民団体&gt;

- ・NPO伊豆(事務局)
- ・NPO下田にぎわい社中
- ・NPOまちこん伊東 など

## &lt;民間団体・企業&gt;

- ・(財)企業経営研究所
- ・(株)東海バス など

## &lt;行政連絡会&gt;

- ・国土交通省沼津河川国道事務所
- ・静岡県
- ・関係市町

※3つの通り別協議会は各団体が個々に参加して構成する



中通り(下田街道の魅力を知る)

## ③苦労した点や工夫した点

歴史、文化、景観など3つの通りごとの特徴を活かし、継続的に取り組めるテーマ設定に心掛けた。

## ④活動の効果

各通り別に取り組むテーマ

- ・西通り 3つの風景(海越えの富士山、夕日、岬)の紹介と整備
- ・中通り 下田街道の整備と天城を中心としたツーリズムの推進
- ・東通り 伊豆東浦路の資源発掘と保存・活用



東通り(東浦路の基礎)



西通り(大瀬崎からの富士山)

## ⑤今後の活動

- ・カーナビ、ホームページなどを活用した情報提供力の強化
- ・歴史、文化、景観資源のデータベースの充実

問合せ先 担当:NPO伊豆 田中  
電話:054-209-2430

活動名称

民話の語り部育成（後継者育成）事業

地域ブロック

東北

ルート名称

みちのくおとぎ街道

### ①活動概要

「みちのくおとぎ街道」のイメージアップ及びブランド化、交流人口の拡大への取り組みの目玉として、地域に伝わる民話・物語・伝承の発掘と継承を行うと共に、街道沿い地域の歴史や文化に体するPR活動を実施。（平成19年度より実施）

- ・語り部の発掘、育成
- ・「みちのくおとぎ民話フェスタ」の開催（H19 約2,000人）
- ・アンケート調査の実施 等

### ②活動の体制

主体

国道113号観光推進協議会（PS）

+

協力

語り部組織（6団体）

### ③苦勞した点や工夫した点

- ・語り部の確保が困難 ⇒ 活動の場（みちのくおとぎ民話フェスタ）を作ることによるPR効果、モチベーションの向上。
- ・来訪者が語り部に求めていることは何か ⇒ アンケート調査を実施し、結果を今後の活動へフィードバック。

### ④活動の効果

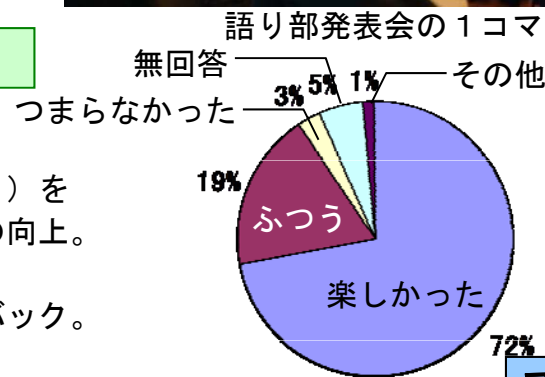
- ・発掘及び育成により、語り部の数的安定化
- ・語り部本人の自信と質の向上

### ⑤今後の活動

他地域には少ない独特の資源である「語り部」を観光の目玉としていくため、更なる質の向上及び規模の拡大に努めていく。



おとぎ民話フェスタのちらし



### アンケート結果における今後の課題

- ・声が低く聞こえない人がいた。
- ・方言で話してもらった方がよい。
- ・子供の教育のため是非聞かせると良い。

問合せ先 担当:国道113号観光推進協議会事務局  
白石市産業部商工観光課 課長補佐  
電話:0224-22-1321



## ①活動概要

観光客やイベント参加者と地域に住む人々がふれあい、まちの生活に関わり、経済的だけではなく文化的など日々の生活に潤いと与え持続的なまちづくりを行うための取組で、各種活動に参加するボランティアに地域通貨として「ちちぶ魅カアップ券」（1000ペイでコイン型商品券に交換）を発行し、まちづくりをとおして地域内流通する仕組みづくりである。

ボランティア地域通貨の発行は平成18年度から、地域内を流通する仕組みづくりは引き続き検討を行っているところ。

## ②活動の体制

## ③苦勞した点や工夫した点

- ・ 秩父市商店連盟事業協同組合が発行し地域に定着しているコイン型商品券をボランティア地域通貨として活用。
- ・ ボランティア地域通貨の原資となる「秩父魅カアップファンド」の仕組み。（現在検討中）

## ④活動の効果

- ・ 景観間伐やエコハイクツアー調査などの各種活動に参加してくれたボランティアに発行し好感を得ている。
- ・ ファンドの仕組みを構築していくうえでの課題や可能性を発見することが出来た。

## ⑤今後の活動

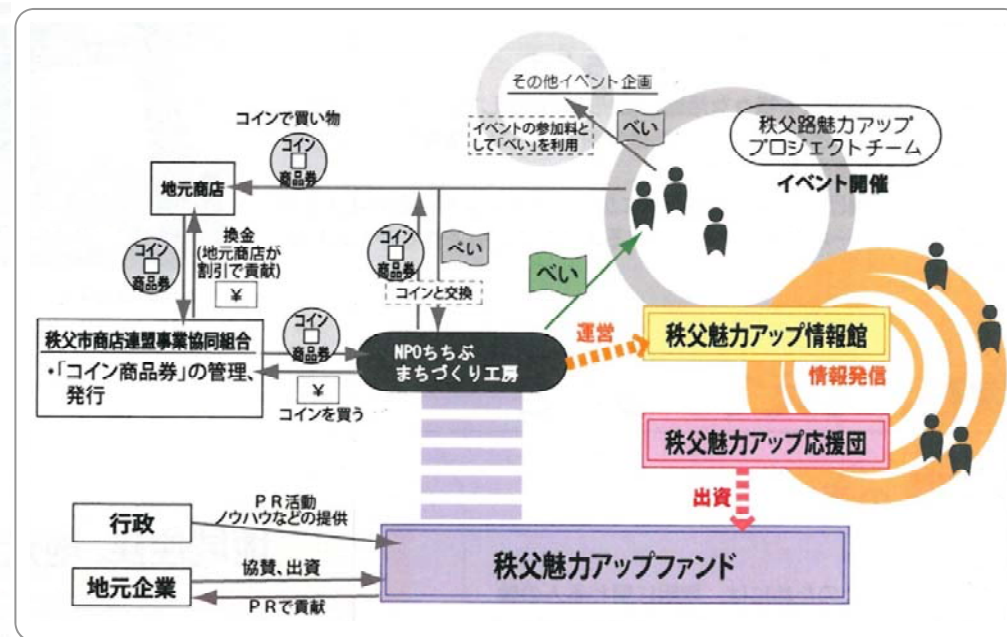
今後は実験的に小さな事業を繰り返しながら少しずつではあるが「秩父魅カアップファンド」の仕組みをより実用性の高いものにする。そのため、活動に参加してくれる人や活動に協力してくれる企業などの「秩父魅カアップ応援団」の構築も引き続き実施する。また、ボランティア地域通貨については、他のイベント企画の利用券にも活用できるようにする。



ボランティア地域通貨「ちちぶ魅カアップ券」



秩父路ボランティア商品券1,000円



地域通貨を活用したまちづくりの仕組みイメージ

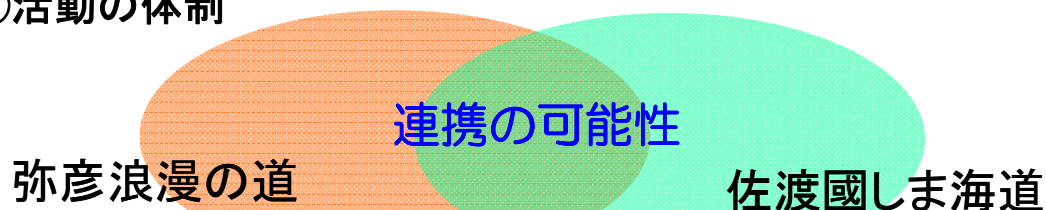
問合せ先 担当: NPOちちぶまちづくり工房 市川 均  
電話: 049-237-7670(アーキネットデザイン)

担当: 埼玉県県土整備政策課 政策形成担当  
電話: 048-830-5365

## ①活動概要

登録ルートである「良寛も歩いた弥彦浪漫の道」と「佐渡國しま海道」において、地理的にお互いの地域がそれぞれの地域を見渡せる位置にあることから、活動の質の向上や活性化、団体間の連携促進等を目的として、合同の勉強会・意見交換会・現地見学会を実施。

## ②活動の体制



## ＜意見交換会：参加者15名＞

・「佐渡・弥彦の連携に向けた活動展開」

## ＜現地見学会：参加者10名＞

・「良寛も歩いた弥彦浪漫の道」の現地見学

## ③苦労した点や工夫した点

- ・ 現段階においては、今後の連携の可能性を検討している段階であるが、
- ・ 工夫した点は、海を挟んで双方の地域が見渡せる、双方のビューポイントにおいて議論するよう、開催方法を工夫した点である。

## ④活動の効果

- ・ ルート間の連携を図ることで、広報活動における相乗効果が期待される。
- ・ また、新潟市～弥彦～佐渡を結ぶ広域サイクリング開催や双方のビューポイントなどへの看板の設置等、新たな活動展開への期待が高まった。

## ⑤今後の活動

- ・ 継続的に意見交換会等を実施し、連携マップ作成や連携グッズの製作販売を模索する予定。

## ＜勉強会：参加者24名＞

- ・ 「まちなみを活かした無電柱化と道路景観」
- ・ 「新潟市におけるレンタサイクルの取り組み」
- ・ 「佐渡市での電動アシスト自転車レンタルの導入状況」



現地見学会の様子(H21.2)



勉強会の様子(H21.2)

## 【問い合わせ先】

担当：弥彦浪漫会（新潟県弥彦村観光商工係）

電話：0256-94-1025

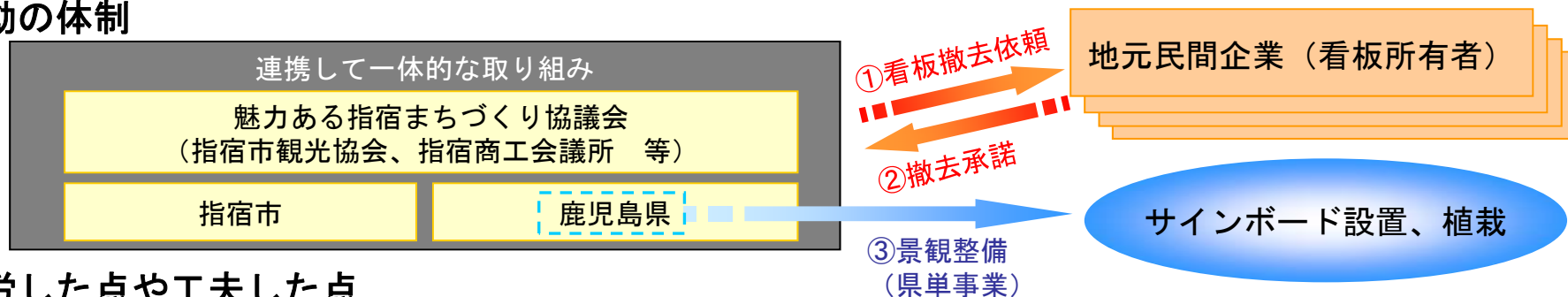
担当：佐渡國しま海道（新潟県佐渡市建設課）

電話：0259-63-5118

## ①活動概要

国道226号にある指宿市街地への入口である大園原交差点に、十数社の看板が無秩序に設置され景観を著しく阻害していたため、「魅力ある指宿まちづくり協議会」を中心に、看板撤去の具体策について県・市と協議し、官民一体となり撤去作業等を進め、指宿市の玄関口にふさわしい景観整備事業を行った。（平成18年度実施）

## ②活動の体制



## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】 看板所有者が多数にのぼり、それぞれ異なる意見を持っていることから、その調整・交渉に苦労があった。

【工夫した点】 協議会の事務局が中心となり、官民協働で看板設置業者と個別に粘り強く協議を重ねることで解決を図った。

## ④活動の効果

乱立した業者看板がなくなり、地域色を活かしたサインボードと植栽による指宿市の玄関口にふさわしい景観を創出。地元の方々や来訪者の評判も良好である。

## ⑤今後の活動

国道224号, 225号, 226号等の沿線地域と連携し、今後もより良い景観形成に向けた活動を実施していく予定。

問合せ先 担当:かごしま風景街道推進協議会 指宿ブロック事務局(指宿商工会議所)  
電話:0993-22-2473





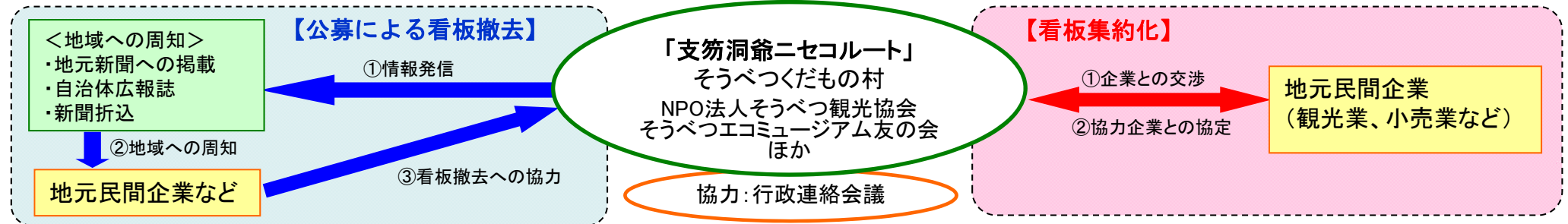
### ①活動概要

「支笏洞爺ニセコルート」では、景観を阻害する看板に関する調査を実施し、その調査結果をもとに民間の看板撤去作業を実施しており、試行的な取り組みとして、看板のデザイン統一や集約化及び看板撤去希望者を一般から公募し撤去に協力してもらうなど、民間看板についての景観改善に関する取り組みを展開している。

#### 【主な活動内容】

- ・看板のデザイン統一
- ・景観阻害看板調査
- ・民間看板等の集約化
- ・一般からの公募による看板撤去

### ②活動の体制



### ③苦労した点や工夫した点

- ・公募型による看板撤去
  - ⇒新聞折り込みチラシによる公募し撤去依頼を受け付けた。
  - ⇒情報を知った廃品回収業者より無償撤去の申し出もあった。
- ・民間看板の集約
  - ⇒民間企業等と実施主体である活動団体の間で協定書を締結。
  - ⇒看板設置にかかわる維持管理経費を徴収する仕組みとした。

### ④活動の効果

撤去活動及び地域住民同士での議論を継続することで、景観を阻害する要因となる看板等の設置・撤去に関する地域住民の意識が醸成されてきている。

### ⑤今後の活動

地域の景観意識の向上を更に深め引き続き、地域が一体となって民間看板における景観向上・保全に努めていくとともにエリアの拡大を目指していく。



看板のデザイン統一



民間看板等の集約化



看板撤去



公募による看板撤去の実施

問合せ先 担当:室蘭開発建設部 道路第1課調整係  
電話:0143-25-7046(内線437)

## ①活動概要

「弥彦ナイトウォーク」実施ルートであるJR弥彦駅前から彌彦(やひこ)神社一の鳥居までの街道沿いにある自動販売機に木枠を被せることにより修景を図る。(平成18年度より実施)

## ②活動の体制

連携して一体的に取り組み

弥彦浪漫会  
(構成) 弥彦観光協会・弥彦文化供楽歩  
弥彦観光ぼらんていあガイド

新潟県・弥彦村

地元民間企業(土産屋や旅館、工務店など)  
で構成され、店頭での自販機で協力

## ③苦勞した点や工夫した点

- ・地域住民による活動への参加・協力がなかなか得られず、取り組みの周知・PRに課題が残った。
- ・木枠作成時に、「弥彦浪漫の道」ロゴを焼き付けた活動紹介プレートと一緒に設置し、認知度向上に工夫した。

## ④活動の効果

地域色と調和した自動販売機に修景され、新潟県下越地方を代表する観光地としての景観を創出。

さらなる魅力向上につながり、地元の方々や来訪者の評判も良好である。

## ⑤今後の活動

今後も引き続き、沿道施設の修景を行うとともに、アンケート調査等を実施し、地域住民・観光客の意見も踏まえ、活動向上につなげていきたい。



修景前



修景後



<活動紹介プレートの設置状況>

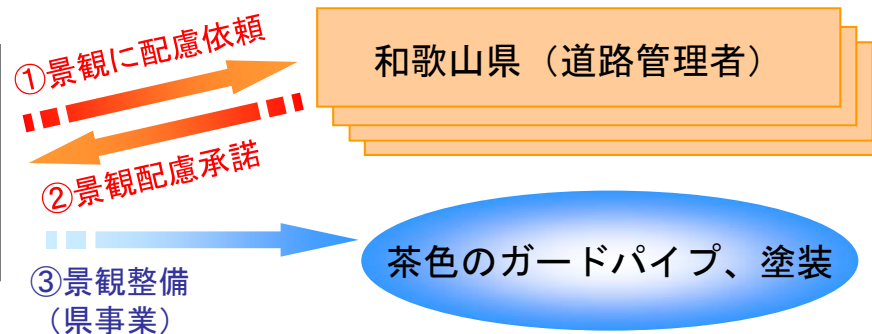
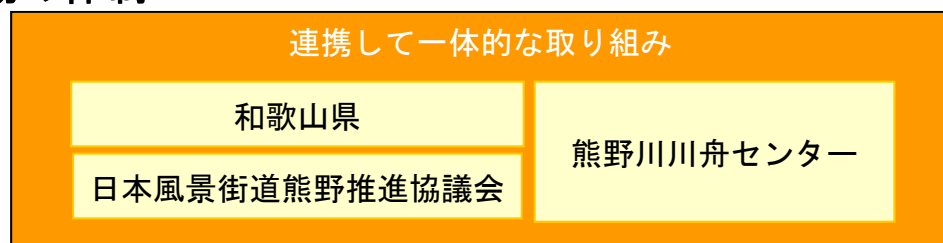
問合せ先 担当:弥彦浪漫会 事務局 羽生 雅克  
電話:0256-94-5841



## ①活動概要

国道168号沿いに流れる「熊野川」からの景観のうち、国道に設置されているガードレールによって良好な景観を形成しているとは言えない箇所について、県では平成18年度より更新時期に達した防護柵を、景観に配慮したものへ随時更新しているが、更新時期に達していないものについても更新までの間景観に配慮するために行った。（平成19年度実施）

## ②活動の体制



## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】 道路管理者が初めての試みであった事からその調整・交渉に苦労があった。

【工夫した点】 景観への配慮の為古いガードレールから順次対応していたが、塗装の場合は、早急に対応でき、経費もガードパイプに付け替えるのに比べて6分の1程度で出来た事



ペンキ塗りをする関係者  
紀南新聞  
平成20年2月15日  
掲載より

## ④活動の効果

景観に配慮したガードレールの色にする事によって、「川舟下り」をする観光客が、川から眺める景観で、いろいろな伝説物語とともに“癒しの空間・時間”を提供する事ができる。

## ⑤今後の活動

今回の活動は、熊野川の和歌山県側の169号のガードレールの事ですが、今後、対岸の三重県側でも随時ガードレールを茶色にする活動を実施していく予定。

問合せ先 担当：熊野川川舟センター  
電話：0735-44-0987

活動名称

神山さくら道づくり

地域ブロック

四国

ルート名称

いやし・もてなし神山街道

### ①活動概要 (H15～)

町内の数多くある歴史を刻んだ素晴らしい名所旧跡をさくら並木で結び、県内外からの観光客を受け入れて、観光・産業等の振興に努め、活力と夢のある神山町を次世代に引き継ぐことを目的に、神山町全域に「神山枝垂れさくら」を植栽して環境整備を図る。

### ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】●植栽予定地が急傾斜地のところでは、雑木の伐採に専門家が必要であった。

- 管理者との協議
- 支柱の手配

【工夫した点】●さくらの種類を「神山枝垂れさくら」を選定したこと

- 自らの手で育てた苗木であること

### ②活動の体制

主 体 NPO法人 神山さくら会

活動に要した費用の調達方法：会費＋寄附金、団体助成

### ④活動の効果

- 参加者数：延べ350人
- 参加者の意見・感想
  - ・すぐに効果はでないが将来が楽しみ。
  - ・数年前に植栽した苗木が花を咲かせ「点から線」になってきた。
  - ・近年、さくらの開花シーズンに観光客が急増してきた。
  - ・すばらしい神山に期待したい。
  - ・大好き神山、住みたい神山。

### ⑤今後の活動

- 国・県道・町道沿いの植栽を早期に完成し、耕作放棄地に「神山さくら」の植栽を進める。
- さくらに関するイベントの展開。

#### ■活動状況



植栽予定地の雑木の伐採



苗木の接ぎ木



苗の掘り起こし



苗木の育成



植樹



しだれ桜の街道

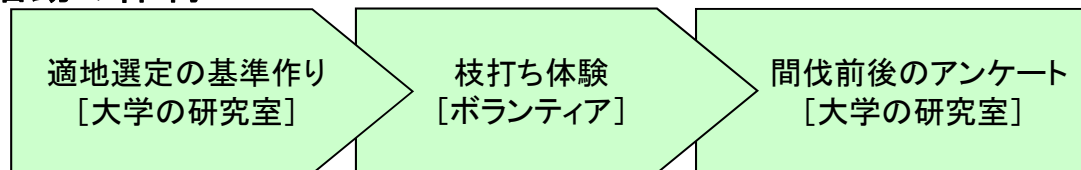
問合せ先 担当:徳島県神山町 産業建設課  
電話:088-676-1118



## ①活動概要

沿道のスギやヒノキの一部を伐採することにより、道路からの眺望を改善し、訪れる人が“いい！”と感じる景観作りを行うもの。  
平成18年度には沿道の「景観間伐」を、平成19・20年度には風景を楽しむ「視点場(眺望空間)づくり」をモデルとして取り組みました。

## ②活動の体制



## ③苦勞した点や工夫した点

- ・パートナーシップのメンバーでもある大学の研究室との協力
- ・ボランティアによる枝打ち体験→間伐の効果を実感

## ④活動の効果

- ・うっそうとしていた樹木が間伐によりすっきりし、道路が明るく、ドライバーの見通しも良好になった。
- ・樹木の間から美しい山並みが見え、訪れる人が眺めを楽しめるようになった。



枝打ちボランティア作業風景



景観間伐

## ⑤今後の活動

- ・道の空間を単なる走行通過する空間として景観づくりを行うのではなく、地域と訪れる人とが交流する空間とした風景づくりとして、「視点場づくり」を展開。
- ・大学との連携  
(カリキュラムとして景観調査の実施 等)



駐車と回遊スペースの状況



実施前



実施後

眺望スペースと景観間伐の状況

問合せ先	担当:NPO森	担当:埼玉県整備政策課	政策形成担当
	電話:0494-54-2636	電話:048-830-5365	

## ①活動概要

長崎県西部の海岸沿いの国道202号からは、海に沈む夕日など、美しい眺望景観を満喫することが可能であるが、道路沿線には、駐車スペースが少なく、また、雑木が生い茂っている箇所があったことから、防草シートの布設及び簡易パーキングの設置を行った。(平成19年度実施)

## ②活動の体制

主体:ながさきサンセット・オーシャンロード推進協議会  
 協力:長崎県道路維持課  
 費用:県単事業

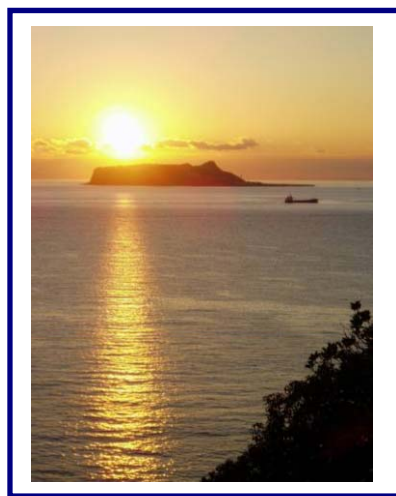
## ③苦勞した点や工夫した点

- ・地域住民や風景街道関係者から、「せっかく美しい景色があるのに活用できていない」という意見があり、夕日の絶景スポットを情報提供して頂き、防草シートの布設、簡易パーキングの整備を行った。
- ・簡易パーキングは、既存の道路区域内に設置した。

## 【防草シートの布設】



## 【パーキングからの夕陽】



## 【簡易パーキングの設置】



## ④活動の効果

- ・美しい景観を活かすことができた。

## ⑤今後の活動

- ・風景街道パートナーシップの方々や地域住民と協働で、景観診断を行い、簡易パーキングの整備を今後も引き続き実施していく。

問合せ先 担当:長崎県 道路維持課  
 電話:095-825-0504



## ①活動概要

尻浦展望台は、延岡市の玄関口である北浦町にあり、日豊海岸国定公園の風光明媚なりアス式海岸を眺望できる観光スポット。しかし、展望台には、眺望を阻害する雑木が生い茂り、さらには、弁当の空き箱や空き缶などが多く散乱していた。

きたうら風景海道推進協議会では、この展望台をきれいで、より良い眺望を提供できる場所とすることで、訪れる方に快適な空間を提供できるよう、清掃、除草、及び雑木伐採を行った。

(平成20年度実施)

## ②活動の体制

活動主体:きたうら風景海道推進協議会

## ③苦勞した点や工夫した点

- ・展望台を美しく快適な空間とすることを目的に、清掃や除草を行うとともに、来訪者へ美しい海岸線の眺望を提供するために、視界を遮る雑木の伐採を行った。
- ・平成19年度には、今後ゴミのポイ捨てを防止することを目的に、「美しい景観はみんなの財産です！ゴミのポイ捨てなどで失わないように」と記した看板を設置。

## ④活動の効果

- ・利用者からも「きれいになり、以前より気持ちよく利用できる。」「ポイ捨てゴミが減少傾向にあるのでは。」といった声が聞かれ、訪れる方に快適な空間を提供する足がかりになった。
- ・今回の活動により、地元住民による自主的な清掃活動の輪が広がっている。(道の駅「北浦」)

## ⑤今後の活動

今後も除草や清掃活動を続けて行く予定。



▲整備前



▲整備後



▲定期的な除草活動

【H19年度に設置したポイ捨て防止看板】



▲看板設置中



▲設置完了

問合せ先 担当:延岡市北浦町総合支所 地域振興課  
電話:0982-45-4238

活動名称

シーニックナイト ～あかりがつなぐ雪のみち～

地域ブロック

北海道

ルート名称

支笏洞爺ニセコルート

### ①活動概要

「支笏洞爺ニセコルート」は、年間を通じて多数の観光客が訪れる地域であり、冬を楽しむ取り組みとして、2006年より参加型イベントであるキャンドルナイトを実施しキャンドルの同時点灯を行った。

- 目的:
- ・シーニックバイウェイ北海道の周知
  - ・地域住民の参加による地域の活性化
  - ・観光客の参加による冬季周遊観光の促進

### ②活動の体制

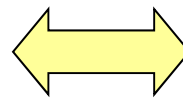
ルート連携の強化と取り組みの継続やさらなる発展に向け、3エリア連携による「シーニックナイト実行委員会」により運営している。

主催:シーニックナイト実行委員会

後援:北海道開発局

協力:各自治体、観光連盟、観光協会、行政連絡会議

支援・連携



協賛企業  
+  
個人



ウエルカム北海道エリアの様子



洞爺湖エリアの様子



ニセコ羊蹄エリアの様子

### ③苦労した点や工夫した点

- ・キャンドルおよび運営資金の確保  
⇒ 企業協賛やシーニックサポーターを募集することで協賛金を獲得しキャンドルの確保を行うとともに運営のための資金確保を行った。

### ④活動の効果

企業協賛や参加団体数が増加し、若年層の参加も見られ地域内への広がりが確認された。また関連イベントの併催や他ルートとの連携も行われた。幻想的な冬の夜の沿道景観が訪れた観光客や地域住民にとっても好評である。

### ⑤今後の活動

参加しやすい仕組みづくりや広報活動をすすめて、地域への更なる浸透、質の向上及び規模の拡大に努めていく。



2007年年ニセコ羊蹄エリア

シーニックナイト参加者



他ルートとの連携

問合せ先 担当:札幌開発建設部 道路調査課 調整係  
電話:011-611-0111(内線2319)



## ①活動概要

熊川宿の将来を担う子どもたちが、自分たちのふるさとを調べ、郷土への理解を深め、誇るべきふるさとを自分たちの言葉で伝えられるようになってほしいという住民の願いを込めて、熊川小学校に依頼してこの事業を行った。（平成19年度実施）

## ②活動の体制

熊川小学校児童

パンフレット作成  
子供語り部の実施の呼びかけ

鯖街道熊川宿まちづくり協議会

## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】 熊川小学校の児童が協力的で、語り部のシナリオを作って何度も繰り返し練習をしてくれた。

【工夫した点】 熊川宿のまちづくりに長く関わっていただいている東京大学の西村幸夫先生と「語る会」を開催し、町並みが整備される前の話をふまえ、熊川宿のみどころを紹介するパンフレットを作成した。



【児童らが作成したパンフレット】



【新聞に掲載された記事】

## ④活動の効果

当初は、若狭町モニターツアーの一行を相手に子ども語り部を実施したが、慣れてくると他のツアーや個人の観光客にも説明をするなど、自信にあふれたいきいきとした表情をみることができた。19年度に語り部を務めた児童が20年度も語り部を実施し、今も小学校の事業として継続している。児童たちは「次はいつ語り部ができるのか」と自信を持ち、確実に熊川宿への誇りが芽生えてきたと思われる。

## ⑤今後の活動

パンフレットは手作りで親しみやすい内容に仕上がっており、熊川宿内の資料館や道の駅などにおいて、観光客に利用していただく。また、来年度以降に子ども語り部を行う際のテキストとして活用していき、子ども語り部を実施していく。

問合せ先 担当:鯖街道熊川宿まちづくり協議会 事務局  
電話:0770-62-2711

活動名称

レーク街道カフェ

地域ブロック

中国

ルート名称

人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～

### ①活動概要

実施年度：平成19年度、20年度（神在月を含む9月から10月の毎週末に実施）

中海・宍道湖・大山圏域が全国に誇る風景と、その背景にある出雲神話等の歴史をくつろぎながら感じることが出来る機会を創出することを目的としたオープンカフェを実施。平成19年度は毎週キャラバンの場所を変えながら景観スポット9箇所を計11回、平成20年度は宍道湖の夕日鑑賞スポットである岸公園にて7回実施した。カフェの机にはそこから見える風景を説明したシートを設置し、地域資源の理解促進を図った。

### ②活動の体制

**レーク街道推進会議**  
(風景街道パートナーシップ組織)  
事務局:松江商工会議所

全体調整

#### 【レーク街道コア会議】

島根県ウォーキング協会 島根県技術士会  
NPO大山王国 NPO島根歴史文化ネットワークもくもく

広報物作成、カフェ機材準備、販売員手配等

#### 【レーク街道カフェ協力団体】

(5団体)

各団体活動エリアでのカフェを運営



### ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】活動原資の確保、事業周知

【工夫した点】島根県補助事業の活用、松江商議所支援により原資を確保。事業周知にあたっては、周辺「道の駅」等へのPRちらし配付、松江市による後援協力などにより実施した。



レーク街道カフェの様子

### ④活動の効果

平成19年度：11回の開催により約600名が来訪。 ※有料来訪者数

平成20年度：5回の開催により約250名が来訪。

売上げ（コーヒー200円、クッキー100円）では販売アルバイトや機材運搬などの費用を賄うことができなかった。

### ⑤今後の活動

平成21年度も継続して実施する予定だが、販売単価やメニューの見直しなど経済的に自立できる仕組みを構築する必要がある。



問合せ先 レーク街道推進会議事務局 担当:岩見 真稔  
電話:0852-32-0504



活動名称

むれ源平石あかりロード

地域ブロック

四国

ルート名称

むれ源平石あかりロード

### ①活動概要

「源平屋島合戦」の史跡文化や地場産業の石材産業文化を活かしたまちづくりのため、点在する源平史跡を繋ぐ約1kmの道を、地元産の庵治石等で作られた“石あかり”で照らす、「むれ源平石あかりロード」を約2ヶ月間、毎日開催した。（2008年8月2日～9月20日）

### ③苦勞した点や工夫した点

- 【苦勞した点】 ●イベント開催資金の確保  
●スタッフ全員が“楽しむ”を目標に活動したので、苦勞と思うことは少ない
- 【工夫した点】 ●地元中学生の参加、住民を中心とした運営  
●石材関係者を中心としたガイド  
●石あかりの電源は各沿道住民の方が負担  
●石あかりの販売による新しい石材販路の開拓

### ②活動の体主体

主体	むれ源平まちづくり協議会 むれ源平石あかりロード実行委員会
----	----------------------------------

+

協力	地域住民の方々（中学生 等）
----	----------------

### ④活動の効果

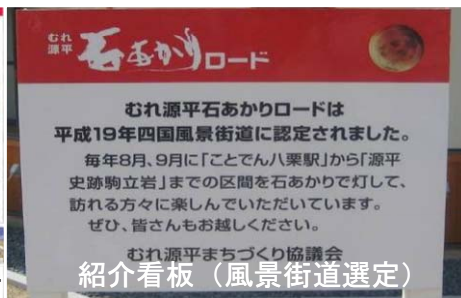
- 規模の拡大：第4回・出展作品：260点（第1回：100点）  
・来場者数：約85,000人（第1回：約30,000人）
- 活動域の拡大：石あかりのデザイン募集やコンテストを全国規模で実施し、また2008年には「全国あかりサミット」を開催する等、牟礼地区を越えて活動。
- 牟礼地区で産出される高級石“庵治石”の普及につながっている。

⑤今後の活動 皆が楽しく住みやすいまちをつくる（まちづくり）をテーマに、住むまちにもっと誇りをもつために活動を進めていく。

#### ■準備・広報



広告を掲載しているフリーペーパー「石あかりロードマップ」



紹介看板（風景街道選定）

#### ■開催状況



地元中学生によるイベント協力



住民協力による石あかりの展示

問合せ先 担当：香川河川国道事務所 道路調査課  
電話：087-841-9125

### ①活動概要

ルート内の地域資源を手作りの灯籠でライトアップを行った。各地域の伝え残したい資源を地域内外の人々に気付いてもらうため、ルート内の4地域8箇所では6月～8月にかけて開催された。(H19,20)

### ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】●開催時間が夜間となるため子供の参加が少ない  
●当日の天候によって規模、内容に変更が生じる

【工夫した点】

- 広報 ・ポスター(全体番・個別版)・チラシは地域でデザイン  
・ブログ、メールリストの活用・メディアへの売り込み
- 活動費用・公益事業費、自治体補助 ・屋台で物産販売  
・学生、住民の手作り灯籠

### ②活動の体制

主体 南伊予みち風景会議・所属する各地域の団体

+

協力 地域住民の方々

### ④活動の効果

- 灯籠設置数：約4,000個(延べ)
- 風景街道をきっかけとして、地域資源を灯籠でつなぐことで、風景街道認知、他地区への灯籠の貸出し、地元の積極的な参加など、地域間の交流が進んでいる。
- 2年目の今年は、リピーターや地区外の人、アマチュアカメラマンが多く見られた。

### ⑤今後の活動

○引き続き灯籠祭りを開催し、定着化と更なる地域間の交流促進、地域外からの来訪者増加を目指す。

### ■活動状況



問合せ先 担当:大洲河川国道事務所 計画課  
電話:0893-24-5185

活動名称

大月コスモスまつり

地域ブロック

四国

ルート名称

四万十かいどう

### ①活動概要

葉タバコ農家の青年たちが、平成14年の高知国体に合わせ、収穫後の農地にコスモスの種を撒いたのがきっかけ。  
ピーク時は約24ha(甲子園球場の6.4倍)で、2千万本のコスモスが咲く。  
大月町の一大イベントであり、四万十かいどうのエリア内でも、中心的なイベントに位置づけられる。

### ③苦勞した点や工夫した点

- 【苦勞した点】
- ボランティアスタッフの取りまとめ
  - 出店受付、電話対応、期間中の荒天対策
  - 広報宣伝活動
- 【工夫した点】
- 町内婦人部に呼びかけて協力を得られたこと。
  - 実行委員会だけの取り組みではなく、町のみんなで行っているという体制作りが出来た。

### ②活動の体主体

主 体 「四万十かいどう」推進協議会

活動に要した費用の調達方法

○前年度の入場料収入の一部 ○民間からの寄付金 ○大月町職員の人的支援

### ④活動の効果

- 平成20年度(10.18~11.2)  
来場者 約17,000人  
ボランティアの延べ人数 約250人
- 平成14年度~平成20年度  
総来場者 約98,000人

### ⑤今後の活動

葉タバコ栽培農家を取り巻く状況は、厳しさを増していますが、来場者アンケートで、感謝の言葉や励ましの言葉をいただいている。その言葉を大切に、また地域の活性化と交流人口拡大に向けて、出来る限り続けて行きたい。

#### ■活動状況



問合せ先 担当: 中村河川国道事務所 事業対策官  
電話: 0880-34-7301



### ①活動概要

17世紀半ばまで伊勢本街道として使われてきた古道「古坂道」は、近年まで隣接する美杉町の川上山若宮八幡宮への参拝の道として使われてきたが、昭和34年の伊勢湾台風で谷あいの数箇所が崩落し、通行不能となっていた。仁柿地区では復旧を望む声は多く聞かれていたが、風景街道「伊勢街道」連絡協議会の支援をきっかけとして、仁柿地区住民協議会が道の拡幅や倒木の除去、橋や急斜面への階段や手すりの設置などの復旧活動に取り組んだ。(H20)

### ②活動の体制

活動団体

仁柿地区住民協議会

支援団体

風景街道「伊勢街道」連絡協議会

### ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】・民有地を通る山道のため、所有者の同意を取り付けるのに苦勞した。・崩落箇所の旧道の再現と安全の確保のため、ルートづくりに頭を悩ませた。

【工夫した点】

- ・新聞やケーブルテレビを通じて情報発信をし、他地域からもボランティアを募り作業を行った。
- ・地域団体の活動を支援することで、風景街道「伊勢街道」連絡協議会の活動目的や事業内容を具体的にPRすることを心がけた。



階段設置作業



道の拡幅作業

### ④活動の効果

- ・事業を通じて、伊勢本街道に対する住民の理解が深まった。・ボランティアを募ったことで他地域とのつながりが広がった。
- ・風景街道「伊勢街道」連絡協議会が地域の活動を支援するモデル事業となった。

### ⑤今後の活動

- ・地域外からの協力を得るための組織づくりを検討中。
- ・道標や案内看板の整備、トイレの設置など、安全で安心な街道づくりに取り組みたい。
- ・古坂道に続く奈良県までの林道の調査を進め、整備計画を立案中。
- ・計画中の国道368号線バイパス工事に対して、古道の保存を呼びかけたい。

問合せ先

担当:風景街道「伊勢街道」連絡協議会 事務局  
奈良県土木部道路建設課

電話:0742-27-7495

活動名称

# 街道の復元整備（未開発峠の調査と復元）

地域ブロック

東北

ルート名称

越後米沢街道・十三峠

## ①活動概要

- ・街道を文化的・歴史的な地域振興資源として活用するため、未開発峠の調査及び、復元作業を実施。
- ・スケジュール  
【H20】現地調査、支障木刈払い等を実施し、ルートの確定と整備。  
【H21】昨年度の調査結果を基に、継続して街道の復元を実施予定。

## ②活動の体制

- 地域と連携して一体的な取り組み

主体

越後米沢街道・十三峠交流会（PS）

+

協力

玉川地区の小学生などのボランティア

## ③苦労した点や工夫した点

### 【苦労した点】

- ・地権者や土地管理者、その他関係者との合意取り付け。
- ・ルートを特定する上で、地元の方への聞き取り調査や古図等の照らし合わせ。

### 【工夫した点】

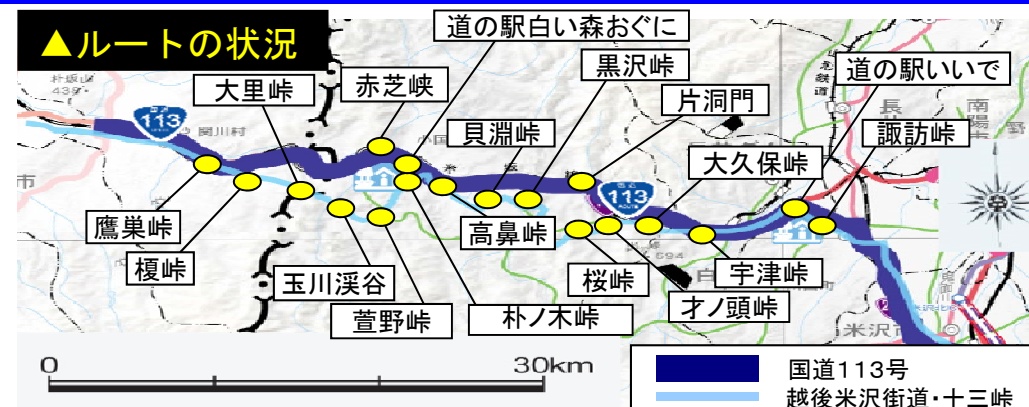
- ・埋もれてしまった萱野峠の敷石の復元には、PSだけでは人手が不足するので、地元の小学生、ボランティアに協力して頂いた。

## ④活動の効果

- ・歴史を感じる敷石街道の復元により、トレッキングの付加価値を高めた。
- ・街道が寸断されたことにより弱まった集落間の連携回復に寄与。
- ・地元ボランティアの参加による活動の拡大と担い手育成。

## ⑤今後の活動

- ・街道の復元整備により、トレッキングイベント、旅行商品等の誘客拡大を図る。



地元紙による報道



萱野峠の復元作業



復元後の黒沢峠

問合せ先 担当:ここ掘れ和ん話ん探検隊 遠藤芳昭  
電話:050-7507-5955



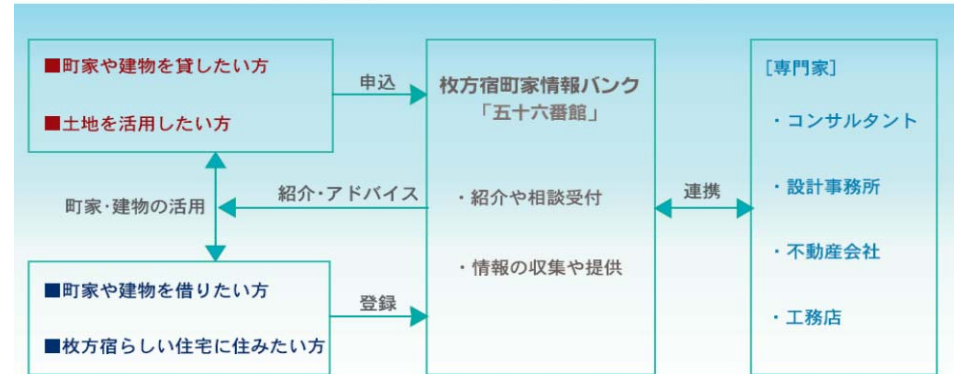
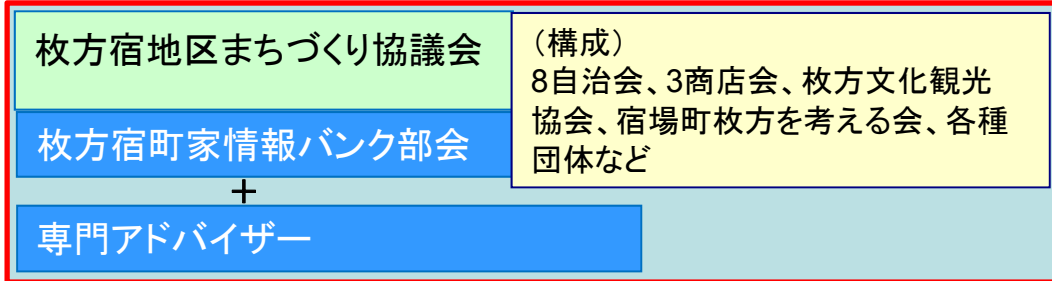
### ①活動概要

かつての宿場町である枚方宿は、歴史街道(京街道)を中心に東海道屈指の宿場町として、また淀川水運の中継港として栄え、枚方発展の礎となったまちです。近年は近代化により失われつつある状況を背景に、平成18年に「枚方宿地区まちづくり協議会」の部会として、町家情報バンク「五十六番館」を設立されました。枚方宿の魅力の発信と賑わいづくりを目指し、町家等を貸したい人と借りたい人を結ぶことにより、地域内にある空家等の活用を支援する取組を行っております。また、斡旋した建物の改築については、枚方市における歴史的な建物の修景に対する補助制度を活用するなど、官民一体となった活動を行っております。(平成18年度より実施)

- ・借手希望者の登録及び物件の発掘や調査
- ・物件の紹介、町家見学会の開催

枚方宿町家情報バンク「五十六番館」のしくみ

### ②活動の体制



### ③苦労した点や工夫した点

- ・物件所有者や借手希望者の提示する条件との意見調整。

### ④活動の効果

空家となった老朽化した町家等を店舗等へ有効的に活用することにより、街の賑わいと歴史的な街なみの形成が図られる。

### ⑤今後の活動

現在、情報バンクに約100名の登録者があります。紹介できる物件が不足している状況ですが、駐車場など空き地からの転用があらたに見込まれます。

また、大阪ミュージアム構想のモデル地区として選定されましたので、今後さらに、行政と連携しながら活動内容を拡充していきます。



問合せ先 担当: 枚方宿地区まちづくり協議会 事務局 枚方市役所 まちづくり推進課  
電話: 072-841-1221(代)

### ①活動概要

沖縄北部地域における風景街道パートナーシップの活動の中心は、歴史遺産・風景といった地域資源を自転車の活用により結び付けていくことである。そこで、安全かつ快適な自転車利用を図るべく、「自転車版快適さマップ」を作成した。作成に当たっては、自転車利用者の視点からの評価も反映させた。（平成19・20年度実施）

### ②活動の体制

#### 【美ら海とやんばる風景海道PS】

【評価版作成】

【評価】

【完成版作成】

北部国道事務所  
ツールどおきなわ協会

【データ活用】

北部地域ITまちづくり協働機構 → まちなみ散策活動への活用、HPアップロード  
 今帰仁グスクの会 → 観光ガイドマップ作成、周遊コースの案内、ガイド活用  
 恩納村文化財案内人道の会 → サイクリングコースの設定、ガイド活用  
 行政機関(道路・交通管理者、自治体) → 景観障害物の改修、地元PR

### ③苦勞した点や工夫した点

マップ評価は県道以上を対象としたことから、総延長約530kmに及ぶ道路勾配データの取得が必要となった。本調査では、GPSを用いて対象となる路線のデータ取得を行った。

道路の評価は、自転車利用の視点から「安全性」と「快適性」を評価した。安全性の指標は、道路幅員（自歩道・路肩）、自動車交通量、自動車走行速度などとした。快適性の指標は、道路の段差、縦断勾配、勾配延長などとした。

図面はGISにより『全体版』に加え、名護など主要3エリアの『エリア版』を作成した。

### ④活動の効果

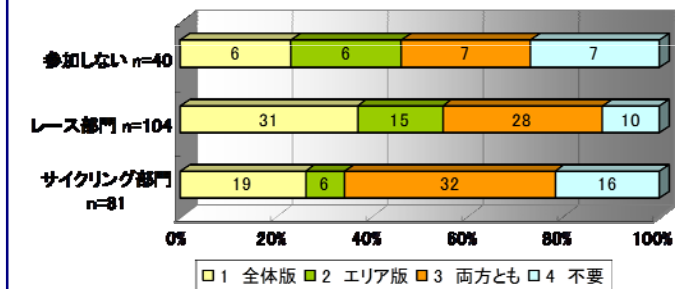
「ツール・ド・おきなわ大会2008」にて参加者へマップの“評価版”を配布すると同時に、アンケート調査を行った。“マップが欲しいか？”という設問に対して、高い支持を受けた（右図）。

### ⑤今後の活動

作成したマップや構築したデータをもとに、風景街道活動団体への支援媒体及びパートナーシップ支援ツールとして活用する予定である。



マップを欲しいですか？



問合せ先 担当: 沖縄総合事務局 北部国道事務所 川崎  
 電話: 0980-54-2744

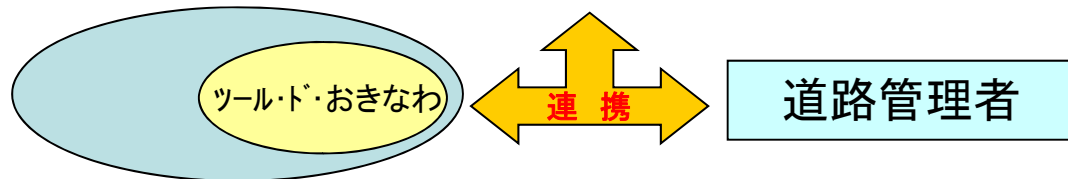


### ①活動概要

自転車により沖縄県北部地区の自然・歴史的遺産を結び、地域の活性化を目的として活動するツール・ド・おきなわとの連携により、自転車走行環境上支障のある箇所を道路管理者へ指摘。自転車走行環境の改善策の検討を行ない、抽出した課題と改善策を「走行改善カルテ」として整理しフォローアップを実施した。

### ②活動の体制

北部パートナーシップ 自転車走行環境の改善 = 風景街道の活性化



【走行環境改善カルテ(例)】

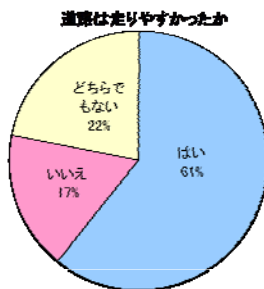
項目	細目	単位	数量	備考
側溝側溝	0.45x0.45	m	55.0	

### ③苦労した点や工夫した点

「走行改善カルテ」の作成。それを元に道路管理者へ依頼することで指摘箇所の情報共有化が可能となり、早期対応が可能となった。

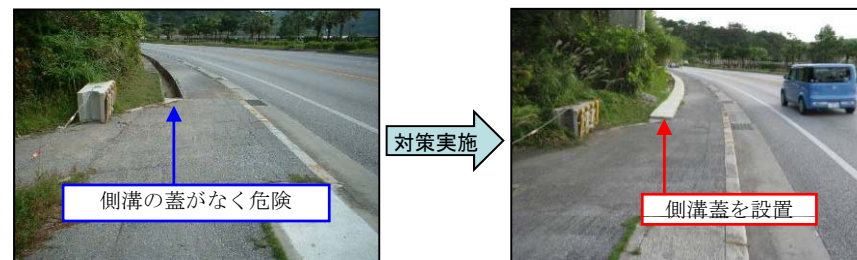
### ④活動の効果

早期対応により自転車走行環境に改善がみられ、自転車利用者からは概ね好評だった。



【対策実施後のアンケート調査】

【対策実施状況】



### ⑤今後の活動

自転車走行環境の早期改善を継続し、道路管理者と風景街道パートナーシップの活動との連携により、より充実した街道作りを目指す。

問合せ先 担当: 沖縄総合事務局 北部国道事務所 川崎  
電話: 0980-54-2744



# 活動名称 砥部陶街道五十三次スタンプラリー

地域ブロック 四国

ルート名称 砥部陶街道

## ①活動概要

砥部町・広田村を結ぶ国道33号・379号を砥部陶街道と命名し、名所旧跡、砥部焼、観光に係る53のポイントを巡るスタンプラリーを開始。巡り方にルールや期限は無いので、思いのまま自分流に巡れる。ポイントには砥部焼を使ったスタンプ台と幟を設置し、53ヶ所完巡者には、完巡メダル・ステッカー・観光施設の利用券をプレゼント。

## ②活動の体主体

主体 砥部町(担当課:産業建設課砥部焼観光係)

協力 五十三次ポイント管理者  
(県・町観光施設、民間事業所、NPO法人 等)

## ③苦勞した点や工夫した点

### 【苦勞した点】

- ポイントの管理:  
スタンプ台の清掃や破損対応、幟の交換など。常駐の管理者がいる所はお願いできたが、公園や史跡など、管理が行き届かない所の対応に苦慮している。

### 【工夫した点】

- 完巡メダルの図柄:当初は無かったが、リピーターを確保するため、メダルに干支のイラストを描き、毎年図柄を変えて収集する楽しみを加えた。
- 検定の実施:五十三次のポイントにまつわる問題(100問)を設定し、90点以上獲得者に認定証を発行。携帯メール会員となると、砥部焼伝統産業会館への入館が毎回無料となる特典を付加。

## ④活動の効果

- 完巡者 累計2,103名、特巡者累計 4,207名、  
携帯メール会員 294名、検定認定者 84名
- 民間事業所の関連商品販売  
地酒や飴などに「陶街道」の名称を用いり、仕出し弁当のラベルに陶街道のマップを使うなど、一部の民間事業所で独自のPRを考案していただいた。
- 地元住民やボランティアグループによるイベントや清掃活動の実施

## ⑤今後の活動

- これまでの活動を継続し、情報発信に努め、砥部陶街道の認知向上と利用者(参加者)の増加を図る。
- 民間事業所・住民・ボランティア・NPO法人等と行政が密に連携をとり、砥部陶街道によるまちづくりを推進する。

### ■開催状況



清掃状況



スタンプ台



スタンプ押印陶街道



しらべ帖



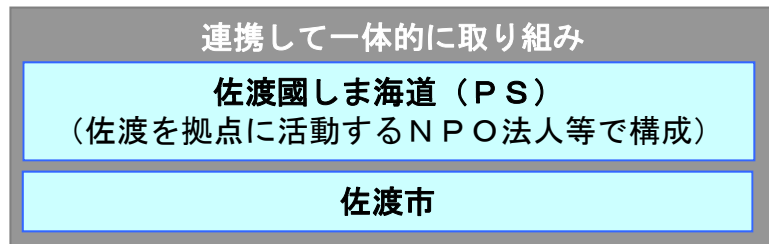
完巡メダル 等

問合せ先 担当:愛媛県砥部町 企画財政課  
電話:089-962-2323

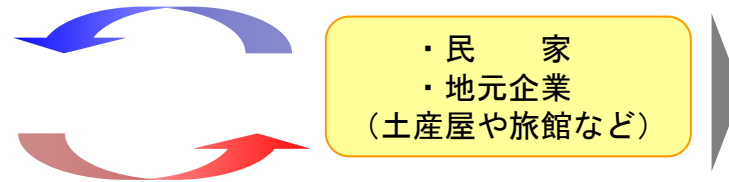
### ①活動概要

「小さな道の駅」をコンセプトに、佐渡を訪れる観光客に、道案内やトイレ・休憩場所を無償で貸すなどのサービスを、民家や地元企業（土産屋、旅館など）の協力のもと実施。平成20年4月～9月の実験期間では、島内38箇所のモニターが参加した。今後、モニターからの意見等を踏まえ、期間中の問題点・改善点を検討し、平成21年度から本格実施の予定。

### ②活動の体制



#### ①「寄れっ茶屋」登録申請



#### ②登録、昇り旗提供、HP上での紹介



＜モニター実施状況＞

### ③苦勞した点や工夫した点

- ・島内玄関口での観光客へのPRが難しかった
- ・市報やフリーペーパーを活用し、活動の目的や協力施設の場所などの島内周知、および協力の呼び掛けを工夫した
- ・佐渡汽船窓口やレンタカー会社と連携し、寄れっ茶屋マップを配布した

### ④活動の効果

- ・数が少なく、冬期間閉鎖するものもある島内公衆トイレの代替効果
- ・旅人と島人の交流が生まれ、リピーターの増加に繋がる

### ⑤今後の活動

- ・観光客へ活動の周知を徹底する
- ・佐渡を代表するイベント（トライアスロンやロングライド）での活用を図っていく



＜佐渡國しま海道HPより＞



＜佐渡市報H20.7月号＞

問合せ先 担当:佐渡國しま海道 事務局 平原 匡  
電話:0259-57-0118

## ①活動概要

ながさきサンセット・オーシャンロードのエリア内にある長崎市大浦地区、神浦地区、平戸市において、通りの名前と距離を示す番号を記載した案内プレートを設置し、土地に不慣れな人にわかりやすい道案内を実施。また、通りの名前と案内プレートの位置を記したマップも作成し、案内プレートと併せて活用できるようにする。(平成20年度実施)

## ②活動の体制

主体:風景街道ながさきサンセット・オーシャンロード推進協議会  
(道守長崎会議、大浦青年会、外海ツーリズム協議会、NPOひらど遊学ねっと)

協力:各地区自治会、(社)長崎国際観光コンベンション協会、長崎商工会議所、長崎総合科学大学、平戸観光協会、平戸市文化協会、松浦史料博物館、長崎市、平戸市、長崎県、国土交通省長崎河川国道事務所

費用:国土交通省の社会実験として実施

## ③苦労した点や工夫した点

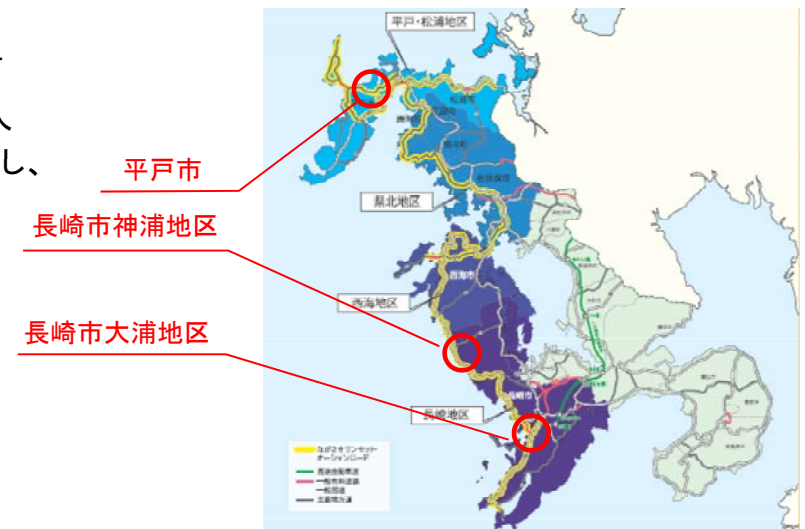
- ・通りの名前には地域の方の思い入れがあり、地域住民全員の合意形成を図ることは大変であるため、地域住民のだれもが参加できるワークショップを開催することで、地域住民の満足度を向上させた。

## ④活動の効果

- ・地域住民があらためて自分たちの地域を見つめなおす良い機会であったと評価。
- ・「通り名」の実施は観光客などへの道案内などに効果を発揮。

## ⑤今後の活動

- ・風景街道エリア内を中心に、周辺地域にも「通り名」による道案内を拡大して行く予定。



ワークショップの様子



まち歩きの様子



案内プレートのイメージ

問合せ先 担当:国土交通省 長崎河川国道事務所 調査第二課  
電話:095-839-9211



## ①活動概要

今もなお、港町の風情を色濃く残している日南市油津地区において、通り名を通じた道案内を実施。「まぐろ通り」などの地元の通称で呼ばれている「通り名」などを道に明示し、マップを片手に油津地区を散策する楽しさを来訪者に味わってもらった。また、地域住民による通り名の命名や民・官・学のパートナーシップによる散策マップの作成などのプロセスを通じた地域コミュニティの再生を図った。(平成19年度実施)

## ②活動の体制

団体名等		役割
油津みなと街づくり委員会 事務局長		プロジェクトリーダー
地域住民		「通り名」命名、地域資源発掘
きらめきライン	日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会(民間)	企画立案、ハード・ソフト整備、モニターツアー運営
	日南海岸地域シーニックバイウェイ行政連絡会(行政)	各種段取り支援、ハード・ソフト整備
	宮崎大学	アンケート調査、評価

【費用：国土交通省の社会実験として実施】

## ③苦労した点や工夫した点

- ・通り名の命名や散策マップの作成等にあたっては、民・官・学が参加するワークショップを開催し作り上げた。
- ・より多くの地域住民の方に取り組みに参加して頂くため、4地域でワークショップを開催した。
- ・標示板にQRコードや昔の写真を貼付し、付加情報を提供。

## ④活動の効果

- ・地域の埋もれていた資源の発掘。
- ・ワークショップを通じて取り組みに参加することで、地域住民の地元への愛着や誇りが醸成された。
- ・官民協働で取り組むことで、地域と行政との連帯感や信頼関係が築かれた。

## ⑤今後の活動

- ・社会実験では、鉄肥杉を案内板の材料として用いたため、劣化等の問題もあり、今後、本格実施に向け、標示板の材質について検討するとともに、標示板の設置箇所や管理手法について検討を行っているところ。



ワークショップの様子



通り名標示板設置の様子



モニターツアーの様子



通り名標示板

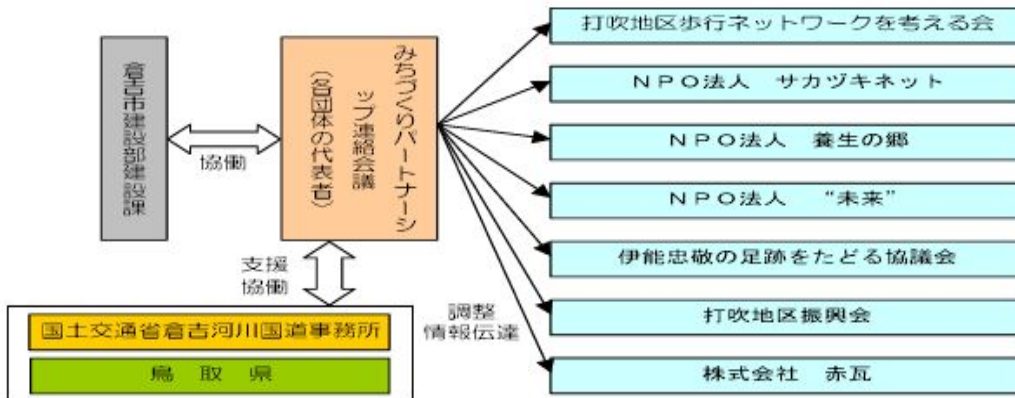
問合せ先 担当：国土交通省 宮崎河川国道事務所 調査第二課  
電話：0985-24-8221

### ①活動概要

倉吉地域の国道をはじめとした道路沿線から、名峰大山のすばらしい景色を眺望することができるという地域資源を活かし、地域活性化に繋げる為、東伯耆パートナーシップが一体となり、ビューポイントを紹介するマップ作成を行った。(H19年度作成)

### ②活動の体制

：東伯耆街道パートナーシップ



道路沿線から大山が眺望できるポイントを紹介



大山遠望歴史の道ビューポイントマップ (H19作成)

### ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】 写真200点余りを収集し、その中で意見を出し合いながら掲載写真決定した。

【工夫した点】 マップのエリアは、倉吉市内からも大山が眺望できることを知ってもらう為、市内中心とした。

### ④活動の効果

市民及び県外からの来訪者に倉吉市内から美しい大山が眺望できるポイントを紹介することで、地域の良い所を知ってもらうことが出来た。また、風景街道の活動も併せて知ってもらい、認知度の向上に繋がった。

### ⑤今後の活動

ビュースポットに案内標識を設置することや、ビューポイントの整備計画の立案を通して、風景街道の認知度向上や活動の紹介に繋げて行く予定。

問合せ先 NPO法人サカズキネット 担当:里見 泰男  
電話:0858-22-7717







### ①活動概要

当ルートが運営しているホームページは、情報を閲覧するだけでなく、交流できるホームページを目指し、2006年度より各地域の住民がホームページのライターとなって、それぞれの趣味や職域、特技などを活かして、各地域の「匂な地域情報」を発信している。

### ②活動の体制

**【ルートホームページ】**



- ・ルートの情報広報部会によるホームページ運営
- ・7つのコンテンツが、独立したブログ

アドレス (<http://sbw.web-p.jp>)

ホームページへの書き込み

#### 【地域ライター】

31名の地域ライターが、居住地のブログに所属



(12名)



(6名)



(5名)



(8名)



### ③苦勞した点や工夫した点

- 【苦勞した点】 ・地域ライターに対して、記事アップに関するマニュアルづくり
- 【工夫した点】 ・様々な匂の地域情報を発信出来るようにブログ形式のホームページを採用
- ・定期的に「ライターズミーティング」を開催

### ④活動の効果

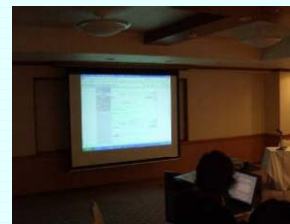
- ・ホームページ上のブログを介して、各地域のライター同士や一般閲覧者とのコミュニケーションが図られた
- ・一般閲覧者に対して、ルート活動のPRが出来た

### ⑤今後の活動

ルートホームページが、「地域のポータルブログ」となるように、全国の「釧路ルートファン」のネットワーク化を目指して活動していく予定

#### 【ライターズミーティング】

地域ライターと定期的（年1回）会議を開催



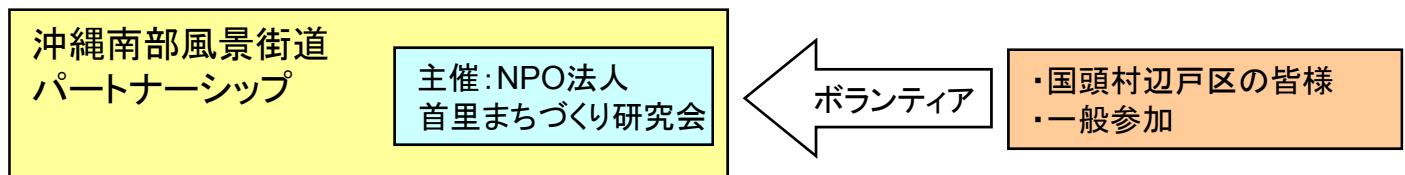
問合せ先 担当：釧路開発建設部 道路第1課 調整係  
電話：0154-24-7000（内線3572）

### ①活動概要

沖縄県南部地区の歴史的活動の継承活動を行ないパートナーシップのメンバーであるNPO法人首里まちづくり研究会が実施している「首里城お水取り」の活動を実施。従来より財政面で厳しい状況であった当該活動において助成を行なった。

「首里城のお水取り」とは、琉球王朝時代からの伝統行事で沖縄本島北部地区から神聖な水を汲み、首里城まで運び献上する年始の儀式。

### ②活動の体制



### ③苦勞した点や工夫した点

当該行事について日本水大賞(水環境に貢献した団体等を表彰するもの)へ応募し、活動のPRを図った。

### ④活動の効果

- ◆当該活動が認められ日本水大賞特別賞を受賞。
- ◆60年前に途絶え、10年前から実施してきた当該行事について未だ県民の認知度は低かったが、日本水大賞特別賞受賞の記事が、沖縄県の地元新聞社2社に掲載される等、当該団体の活動を県民に広報することができた。

### ⑤今後の活動

伝統行事である「首里城お水取り」について、今後も更なるPRを行い県民の認知度を高めることで伝統の継承に努め、南部地区の風景街道の活動として盛り上げていきたい。



▲沖縄タイムス 2009年4月14日



▲日本水大賞受賞式に出席 2009年6月30日(東京)

問合せ先 担当: 沖縄総合事務局 南部国道事務所 渡久山  
 電話: 098-862-5325

## ■ 風景街道地方協議会等の連絡先

- シーニックバイウェイ北海道推進協議会（北海道開発局建設部道路計画課内）  
電話 011-709-2311（代表）
- 東北風景街道協議会（東北地方整備局道路部道路計画第二課内）  
電話 022-225-2171（代表）
- 風景街道関東地方協議会（関東地方整備局道路部道路計画第二課内）  
電話 048-601-3151（代表）
- 北陸 風景街道協議会（北陸地方整備局道路部道路計画課内）  
電話 025-280-8880（代表）
- 風景街道中部地方協議会（中部地方整備局道路部計画調整課内）  
電話 052-953-8119（代表）
- 近畿風景街道協議会（近畿地方整備局道路部地域道路課内）  
電話 06-6942-1141（代表）
- 中国地方風景街道協議会（中国地方整備局道路部地域道路課内）  
電話 082-221-9231（代表）
- 四国風景街道協議会（四国地方整備局道路部地域道路課内）  
電話 087-851-8061（代表）
- 九州風景街道推進会議（九州地方整備局道路部道路計画第二課内）  
電話 092-471-6331（代表）
- 沖縄地方風景街道協議会（沖縄総合事務局開発建設部道路建設課内）  
電話 098-866-0031（代表）
- 国土交通省道路局 環境安全課 道路環境調査室  
電話 03-5253-8111（代表）